

- Eter-o 〔化〕エーテル, 〔理〕精気
エーテルはエスペラントで化称して
「エテロ」と「オ」を添ふるなり
- Etern-a 永久の, 無始無終の
永久の神の恵みは極みなく
日月の如く栄エテルナ(え照るな)り
- Etik-o 倫理学
倫理学教エティーコ(えて好い子)を育て上げ
忠と孝との模範者とせむ
- Etiket-o 礼儀, 礼式, 貼紙
エテケート(叡智敬道)立派な紳士が礼式も
礼儀も忘れて貼紙してゐる
- Etimologi-o 語源学
語源学者のエティモロジーオ(叡智諸議を)
費して, 世界の言語を研究してゐる
- Etiologi-o 〔医〕病源学, 〔哲〕起原学
病源学, 起源学を考エティ(えて)
オロジーオ(欧露義意を)ば示す博士等
- Etnografi-o 人類誌
エトノグラフィオ(遠土野位を)漸く調べて
学者等が, 抛り処の無い人類誌を編む
- Eūkaristi-o 聖餐
エウカリストイーオ(絵浮つかり素地を)出した
聖餐の, 会堂の壁の不似合なるも
- Eūnuk-o 宦官(クワンガン)
宦官に仕立てんとする御典医が
小年のエヌーコ(陽抜かう)としてゐる
- Evangel-i-o 〔宗〕福音, 福音書
天国の福音又は福音書
世人を救ふエヴァンゲリーオ(穢犯解理翁)

- Eventual-a 或は起るべき, 偶然の
エヴェントゥアーらば(良い便通あらば)平癒する
ならん, さなくば腸炎或は起るべきなり
- Evident-a 明白なる, 顯然たる
明白なる住所姓名書き示し
手紙をもつてエヴィデタつ(遠鄙伝達)す
- Evit-i 避く
エヴィーティ(英美衣地位)貴婦人達が自働車で
走れば行人道を避くなり
- Evolu-i 進化す, 〔軍〕機動す
エヴォーイー(宮防置)進化するに連れて
機動する, 軍の演習激しくなり行く
- Evoluci-o 進化, 発展
何事も進化, 発展する時は, エヴォるツィーオ
(栄豊留地位を)得たりと人の言ふなり
- Ezofag-o 〔解〕食道
食道を通過し胃腑に下るエゾ(餌ぞ)
フーゴ(まご)付かずして消化するなり
- Ezok-o 〔魚〕一種の淡水魚
「エゾーコ」(蝦^エ雑^コ魚[?])は淡水魚族の一種なり
あつさり味を江戸ッ児好くなり

F

- Fab-o 〔植〕そら豆
春の野辺そら豆のファーボ(葉ぼ)つて来て
ピーピー鳴らす里の乙女子
- Fabel-o お伽噺, 物語
嬢さんのお伽噺にフーパー(侍^ラふ)と
小波^ミさんの著書を持ち行く

Fabl-o 寓話

有名の松の**ファーゾ**(葉風呂)に行き見れば
寓話の種を沢山に聞く

Fabrik-o (一) 製造, (二) 製造所

鉄網[?]や**ファリーコ**(あぶりこ)をば製造して
町に売り居し杉田先生

Facet-o 小面, 刻面

小面のいと愛らしき女生徒
その名を聞けば**ファツェート**(初枝と)曰ふ

Facil-a 容易なる, やさしき, 順の(風にいふ)

自然主義いと容易なる田舎には
大事の**ファツィーら**(鉢等)直ぐに砕くる

Faden-o 糸, 線

色々の糸を求めて機織れば
ファデーノ(派手の)品と老人が曰ふ

Fag-o 〔植〕山毛櫸[?]

ファーゴ々々々と山風に揺る山毛櫸の枝に
小鳥の群が遊び居るかな

Fagot-o 〔音〕大豎笛

ファゴート大豎笛が鳴つて居る
何処の名人が吹いて居るのか

Fajenc-o **ファエンツァ**焼(一種の土器)

ファエンツァ焼は一種の土器にして
ファイエンツォ(肺[?]炎[?]唾[?])を吐く壺となる

Fajf-i 口笛を吹く, 吹き鳴らす, 鳴る(風など)

口笛を吹くと忽ち歯が痛み
呼吸器の**ファイフィ**(肺非)常に弱る

Fajl-i 鉢[?]にて磨る

薬[?]研[?]を鉢にて磨るその跡は
煉[?]木[?]も余程**ファィり**(這入り)よくなる

Fajr-o 火

茶室には炭火も消えて湯も冷えつ
冷たき**ファィロ**(灰炉)ばかり残れる

Fak-o 区画, 区分, 部

薬品を**ファーコ**(箱)に容れて毒剤の
区劃を立てて危険を防ぐ

Fakir-o 托鉢僧

ファキーロ(萩色)の法衣の破れまとひつつ
雪ふる街を托鉢僧の行く

Faksimil-o 模写, 真写

名画をば模写せんとする書生たち
筆筒の中の**ファクスマー**(薄紙見ろ)

Fakt-o 事実

事実をば**ファクト**(吐くと)罪が重くなると
考へ未決囚嘘ばかり言ふ

Faktor-o 因数, 要素, 代理, 商人, 弁理人

ファクトーロ(白頭顱)の原敬首相も弁理人
国家の代理と成りし商人

Faktur-o 〔商〕送状, 仕切状

地平翁飯田の**ファクトーロ**(博通老)人に
送状つけて見舞金出す

Fakultat-o 分科大学

色々の学**ファクタート**(派来るだと)京都の
分科大学知識の叢淵

Fal-i 落つ, 倒る, 斃る

飛行機から**ファィり**(ふわり)と落つる直ぐ倒る
之をば悲高死などといふらん

Falang-o 槍兵団, 指(趾)骨

満洲の槍兵団が指の骨
ファランゴ(破乱後)まで寒氣と戦ふ

Falbal-o 女衣の襷飾タカリ

ファールバーロ(遙々)と故郷の母が愛娘の
襷飾をば買つて持ち行く

Falc-i 刈る

牛馬の糧を得んとて百姓が
若草山のファールチ(春千)草刈る

Fald-i 畳タタミむ、折重ぬ

綿入れ衣最早や要らぬと母が畳む
ファールディ(春で)あるから暖かいとて

Falk-o 〔鳥〕鷹タカ

雀原に鷹の降りたる如くなり
ファールコ(春子)太夫の浄瑠璃の節は

Fals-a 偽造の、変造の、にせの

ファールサき(春先)になると逆上サカして遠近に
偽造の帰神流キカミナリ行ユキ出すなり

Fam-o 噂、風評、名声

世ヨ人ヒトの噂も七十五日間
戸は閉トてられずファーム(齒も)合はぬなり

Famili-o (一) 家族、一家 (二) 家柄、氏

二千石ファミリーオ(食み利威翁)家柄の
家族の中から定九郎が出る

Familiar-a 心安い、無遠慮の、熟知の

心安い商売すれば無遠慮の、ファミリアーラ
(端収入有ら)むは熟知の上なり

Fanatik-a 狂信の、惑溺的

惑溺的ファナティーカ(花近か)く咲いて居り
手折らんとする狂信の騒ぎよ

Fand-i 鑄る、鎔解す

ファンディ(梵字)を彫り付け寺の和尚等が
諸行無常の鐘を鑄るなり

Fanfar-o 喇叭吹奏、喇叭隊

喇叭隊ファンファーロ(畔破路)をば勇ぎよく
喇叭吹奏なしつつ通る

Fanfaron-i 自慢す、虚勢を張る

天竺は世界で一番良い国と
ファンファローニ(梵派老尼)自慢するなり

Fantazi-o 空想、想像、珍奇の意匠

空想に耽りながらもファンタ(不安多)
ズィーオ(瑞応)来れと待つぞ可笑しき

Fantom-o 幽霊

ファントモ(番頭も)丁稚もどつと腰抜かす
木キ削ノ屑カをば幽霊と見て

Far-i 為す、作る

ファーリ(針)仕事為すことさへも知らぬ女
夜鷹となつて青首ねらふ

Faring-o 〔解〕咽頭

ファリゴ(端林檎)皮をむかずに食ふ時は
スエズ運河の咽頭傷つく

Farm-i 小作す、借地す

ファルミ(春実)蒔いて五月に苗を採り
小作するをば下百姓と曰ふ

Farmaci-o 製薬術

伊吹山ファルマツィーオ(春待ち了)うせ生うる
薬草、取りて製薬術をば学ぶ

Fars-o 道化、茶番

ファルソ(春草ハルカ)の青芝の上に若者が
お道化芝居をしつつ花見る

Fart-i 暮す(健康の如何に言ふ)

一生を楽しく健康に暮すあり
ファルティ(病ヤ氣キで)暮す不幸者あり

- Farun-o 粉, 穀粉, (特に) 麦粉
 白い粉をベツタリ附けてファルーノ(春の)花に
 蝶のたはむる如き艶人ど
- Fasad-o 〔建〕正面
 正面ファサード(は嘸)面白う見えるだらう
 聲でさへも棧敷でよく見ゆ
- Fask-o 束タサ
 大根のファスコ(葉ハ少)うし束ねたる
 青物買へば拾銭を取る
- Fason-o 流行, 風(衣服などの)
 ファソーノ(破僧の)衣ばかりを着飾りて
 世の流行に従つて行く
- Fast-o 断食, 精進
 断食をすると唱ふる乞食僧
 ファスト(蓮と)自然薯を隠れてぞ喰ふ
- Fatal-a (一) 宿命の, (二) 致命的の
 汗かいてファターら(働ら)けど運が来ぬと
 宿命の外道が断食をする
- Faük-o 顎アゴ (猛獣などの)
 肉食を好む猛獣の顎見れば
 ファッコ(齒浮かう)とは思へぬ堅固さ
- Fav-o 〔医〕白癬シカミ
 白癬が医者塗薬でファーヴ(破瘡)して
 稍全快の曙光見えけり
- Favor-a (一) 好意の, 深切なる (二) 我に都合よき
 信徒等の好意の布施をフヴァーラ(破坊等)
 湯水の様に花街に散らす
- Faz-o 〔天〕象, 盈虚〔理〕位相
 天体の盈虚交はる現象は
 桐の一ファーゾ(葉ぞ)落ちて知らるゝ

- Fazan-o 〔鳥〕雉子
 子を恋ふる焼野の雉子夜の鶴
 ファザーノ(側ソバの)見る目も哀れなりけり
- Fazeol-o 〔植〕隠元豆
 ファゼオーロ(芭蕉翁老)隠元豆の垣を見て
 一句やらんと小首をひねる
- Fe-o 妖精, 神仙
 神フェーオ(兵を)天より降し世を乱す
 妖精邪鬼を祓はせたまふ
- Febr-o 〔医〕熱, 熱病
 重病の熱は追々退散し
 漸く癒フェーロ(平風呂)に浴りけり
- Februar-o 二月
 二月堂仏の力で水をとる
 寒さに不フェル(平振る)者がアーロ(ある)
- Feê-o 滓スリ, 糟
 安価なる葡萄酒底に滓沈み
 瓶の出口にフェーチ(閉貯)するかな
- Federaci-o 聯合, 同盟, 聯邦
 フェデラツィーオ(腐壞寺地位を)強固にせんと
 坊主等が, 仏教聯合会を組織す
- Fel-o 毛皮
 フェーロ(富栄楼)冬は室内限もなく
 虎の毛皮を敷詰めてあり
- Feliê-a 幸福なる, 仕合よき
 年々に斯く財産がフェリーチ(減りちや)
 余り幸福なる身とは言はれぬ
- Felieton-o 文芸欄(新聞などの), 続き物
 新聞紙文芸欄にフェリエートノ(弊履絵党の)
 悪雑ワザカシ藻屑モクシの批評掲ぐる

- Felt-o 毛氈, 漣紗^{スラサ}
 青畳表がフェルト(減ると)気をもみて
 花毛氈を敷詰めておく
- Feminism-o 男女同権論
 男女同権論が一步を進めつつ
 華族の輩をフェミニスト(平民にするも)
- Feminist-o 男女同権論者
 華族までフェミニスト(平民にすると)
 いきまけり, 男女同権論者の連中が
- Femur-o 〔解〕腿^モ
 フェムール(遍路)者が山野を涉り狼に
 腿をかまれて転び倒る
- Fend-i 割る, 裂く
 フェンディ返(辞)を早く聞かせと矢の使ひ
 言割る(断る)訳にも行かぬ苦しさ
- Fenestr-o 窓
 窓明けてフェネスト(冷え寝主頭老)
 風邪を引き, 息子朝から病院へ急ぐ
- Feniks-o 〔神〕不死鳥
 神界に仕ふると言ふ不死鳥も
 死すればフェニックス(尻に尿)の如く臭し
- Fenkol-o 〔植〕茴香^{クキョウ}
 茴香の薫る山路を幾往^{フン}フェン(返)
 コーロ(行路)は何時も心地良きかな
- Fenomen-o 〔一〕現象, 不思議, 稀有の事
 不思議なる現象ぞかしフェノメノ(尻の命の)
 長きか鼻の臭ひ去らない
- Fer-o 鉄
 大都市のフェーロ(平路)は何れも鉄の板
 張り詰めあれば行歩安全

- Ferdekk-o 〔海〕甲板^{カブ}, デツキ
 甲板に立ちて海上見渡せば
 「フェルデーコ」の遺跡がかすむ
- Feri-o 休日, 祭日
 休日と祭日が続くフェリーオ(弊履を)
 捨てて新調の沓を購ふ
- Ferm-i 閉づ
 大道に従フェルミ(へる身)は世の中に
 耳閉づ口閉づ眼閉づなり
- Ferment-i 醗酵す
 醗酵する力も失せし冬の糍^ア這^ア室
 入れば忽ちフェルメント(冷える面体)
- Fervor-o 熱心, 熱情
 熱心に雪を眺めて佇^{タズ}めば
 身体強くフェルヴオーロ(冷える望楼)
- Fest-o 祝日, 祭日, 祝典
 祝日にエスペラントの講師をば
 フェスト(聘すと)勇み国旗掲ぐる
- Festen-o 饗宴, 宴会
 フェステノ(富栄主帝王)銀婚式の饗宴に
 列せんとして燕尾服着る
- Feston-o 花綵^{ハナヅナ}
 花綵を数多の乙女引いてゆく
 山車の後からフェストーノ(尻吸ふ党の)行く
- Feti-c-o 物神 (未開人の神として崇拜する諸物)
 物神を吾神床フェティーチョ(へ鄭重)に
 祭りて家内一同祝ふ
- Feūd-o 封土, 知行
 封土, 知行昔の言語に似たりけり
 エス語は之をフェッド(富栄有土)と言ふ

Fi 〔間投〕 嫌悪、輕蔑、不満等を表はす辞、又往々
接頭語として上記の意味に用ひらる
嫌悪なし輕蔑をなし不満等を
表する時に「フィ」と齒を出す

Fiakr-o 辻馬車、貸馬車
今日のフィアックロ(日は暗ふ)なつた貸馬車も
なければ夕べを辻馬車買ひて行く

Fianc-o 婚約者(男)
婚約のきまつた男嫁を取る
フィアンチ(日安長)なれと祈れる

Fiask-o 失敗シヤク(奏楽演技などの)
奏楽や演技の上の失敗を
フィアスコ(不意吁少う)し困つたと曰ふ

Fibr-o 〔解〕〔植〕纖維
植物の纖維を採つて機に織り
フィエロ(ひびろ)の広き反物つくる

Fid-i 信頼す、信用す
オノ覚オノのフィードイ(秀で)たる人々を
信頼するは人情の常

Fidel-a 忠実なる、誠実なる
君国に忠実なるの人々の
頭に朝フィデーラ(日照ら)すゆかしさ

Fier-a 傲慢なる、尊大なる、自尊の
傲慢なる人と噂が立ちしより
良い縁談もフィエーララウ(冷ヒヤらう)とする

Fig-o 〔植〕無花果フィグ(果)
フィゴ(肥後)の奥小国オクニの郷に往て見れば
無花果の樹は何処にも無し

Figur-o 〔形〕姿〔肖像〕図形
〔幾〕図〔文〕転義
顔形恰好良けれど肌の色は
フィゲロ(緋黒)いと花嫁嫌ふ

Fikci-o 仮作物語、小説
何なりとフィクツィーオ(火口を)捕へて小説家が
原稿料とる仮作物語

Fiks-i 〔一〕定着す、固定す、〔二〕色留を施す
太陽は西山の端にフィクスス(低し)
されど自動車は正に定着す

Fiktiv-a 虚構の、仮作の
新聞の記事は虚構の報ばかり
フィクティヴァヴァ(卑口低罵)記者の卑劣さ

Fil-o 息子
木阿弥の弥助の生んだ息子なる
藤吉郎はフィーロ(英雄)豪傑

Filantrop-o 博愛家、慈善家、仁者
蜂起せしフィラントローボ(匪乱泥棒)も同胞と
見做して救ふは博愛家なり

Filantropi-o 博愛、仁愛
博愛は誠の人はおだやかに、フィラントロピーオ
(匪乱徒陋匪を)も赦すなりけり

Fili-o 支部、支店
フィリオー(非利を)貪ぼる支部や支店をば
改革せむと本店主が言ふ

Filik-o 〔植〕羊齒シ
フィリーコ(日入後)松茸山に忍び入り
暗カクレがり紛れに羊齒で手を突く

Filolog-o 言語学者
フィロロギーゴ(広う論語)孟子の説や釈迦の説
博く究むる言語学者等

Filologi-o 言語学
国々の言語学をば学ばずに、居ながらに
知るフィロロギーオ(英雄老義王)

Filozof-o 哲学者

デカルトやライブニッツは**哲学者**、殊に
ルソーは**フィロゾフ**。(英: 雄^ロ 壮^ゾ 夫^フ 男^オ)

Filozofi-o 哲学

哲学を学ばず読まず**哲理**をば、悟れる人は
フィロゾ。(英: 雄^ロ ぞ) **フィーオ**。(比: 偉王)

Filtr-i 濾す

西山に**フィトリ**。(屋鳥)が巢に帰る
飯を焚かんと水を**濾す**下女

Fin-i 終る、済ます

何事も其**フィーニ**。(日に)終る様にせよ
決して明日に延ばしぢやならぬ

Final-o 〔音〕終曲、終節

音楽者**終曲**までもよくやつた
月**フィ**。(日)**ナーロ**。(習ふ)た丹精のため

Financ-o 財政、経済

財政を紊乱したと蔵相の
フィナンツ。(批難強)く起る政界

Fingr-o 指

小指をば切つて添うたる夫婦仲
フィンゲロ。(封隠苦勞)の絶ゆる時なし

Firm-a 堅固なる、丈夫なる、確乎たる

フィルマ。(屋間)には要らねど夜盗免れんと
いと**堅固なる**金庫をば買ふ

Firm-o 〔一〕商会、〔二〕商号

フィルモ。(昼も)夜も**商会**のため活動する
社員があれば自然栄ゆる

Fisk-o 国庫

国庫が空虚になるから戦争**フィスコ**。(費少)
しにせよと政党者が言ふ

Fistul-o 〔医〕瘻管、瘻

瘻管を悩むヒステリ婦人をば
フィストゥーロ。(比: 斯痛勞)と医者と言ふなり

Fis-o 魚

フィーショ。(避暑)のため海水浴に出て行きて
まぐれ当りに**魚**掴みけり

Fizik-o 物理学

物理学**フィズィーコ**。(附意随考)も幾度か
重ねて遂には真相捉ふ

Fiziologi-o 生理学

生理学**フィズィオ**る**ギーオ**。(附意随大論議を)
幾度か、重ねて人体真相を知る

Fizionomi-o 顔貌、人相

フィズィオノミーオ。(富位随己の身を)幸福に
持ち人の運、その**顔貌**に露はれて居る

Fjord-o 〔地〕峡江

パナマ地峡にけ**ッヨド**。(今日寄るド)
級艦ありと、江辺の人さわぎまはるも

Flag-o 小旗

示威運動**小旗**たづさへ団員が
ふら**フラーゴ**。(ふら護)衛しつつ従ふ

Flagr-i 焰がゆらぎもゆ

「**ッラッリ**」。(富羅俱利)の火山又もや活動し
天に**焰がゆらぎもゆ**見ゆ

Flam-o 焰、情火、熱情

焰々と燃え上りたる地震火事
暴**ッラーモ**。(風^ラ等^モ)共に襲ひ来^ル

Flan-o 一種のクリーム菓子

妖**ッラーノ**。(婦等の)好んで喰ふはハイカラな
一種の**クリーム菓子**に饅頭

Flanel-o フランネル

二三日間^{らネー}ろ(降らねーろ)用心の
ために持ち行くフランネル服

Flank-o (←) 側面 (→) 脇腹 (≡) 方面 (前後左右)

地震雨^{らッ}コ(風乱戸)毎襲はれて
山の側面^さして避難す

Flar-i 嗅ぐ

^{らー}リ(ぶらり)ぶらりと野辺に立ち出でて
月下に糞^肥の臭ひ嗅ぐかな

Flat-i 諂ふ, 阿^々る

万民をしいたげ上に諂ふは
今の役人^{らー}ティ(不埒)千万

Flav-a 黄色の

黄色^のの声をば出して淫売^の(婦)
^{らー}ヴ(恋)^スするとは度し難き奴

Fleg-i 看護す

家の^{れー}ギ(風礼儀)も知らずハイカラが
看護^{する}なり病人の床

Flegm-a 冷淡な

冷淡^な車掌なるかも客室を
尻^れマ(振れ熊)の如く扱ふ

Fleksi-i 曲げる, 撓める

現代の教育法は若樹々を
撓める, 曲げる^れスィ(不靈苦推)なり

Fleksi-o 〔文〕活用, 語尾変化

文法の活用全き文学者
^れスィーオ(富靈奇^{しい}を)察知するなり

Flik-i 補綴す, 綴布^をを当つ

大屋根のトタンが雨で漏り出した
^{りー}キ(鍼力)以つて破れ補綴す

Flirt-i 翻る, ひらひら飛ぶ(蝶などの), 戯れる
春風に旗天蓋が翻る

坊主鈴をば^りルティ(振り)て行く

Flok-o (←) 屑^(毛, 綿, 布) (などの) (→) 飛片^(雪片, 羽毛) (などの)

綿布などの屑物満載し
^{るー}コ(風浪漕)ぎ行く屑屋船かな

Flor-o 花

吉野山御^室風^々とかけめぐり
花を楽しむ^{るー}ロ(浮浪老)人

Floren-o 奥国貨幣単位

奥国の貨幣単位を「^るレーノ」と
エスペラントは用語するなり

Flos-o 筏

谷の間を筏流るゝ大井川
吾にも似しと^{るー}ソ(浮浪僧)言ふ

Flu-i 流る

^{るー}イ(旧い)思想流るる固陋川
末は暗黒海に落ち行く

Flug-i 飛ぶ

震災後秋冷襲ひ来るより
^{るー}ギ(古着)さへ飛ぶ様に売れる

Fluid-a 流動体の

大火事のあつた後からザアザアと
流動体の雨が^るイーダ(降り出)す

Flustr-i さゝやく

暗がりの軒にさゝやく曲者は
人家を窺ふ^るストリ(古巢取)かも

Flut-o 笛

笛の音も雨が^{るー}ト(降ると)何^処となく
湿り淋しく聞え来るなり

Foir-o 定期市, 市^シ

定期市到りて見れば八方四^ホ方^ホ
イーロ(色)々の品売出してあり

Foj-o 度, 回

二度三度五回六回^ホフ^ホー^ホヨ^ホ(方除^ホ)けの
祈禱に参る御幣がつぎ爺

Fojn-o 刈草, 枯草, 秣^サ

丑寅の^ホイ^ホノ^ホ(方位の)刈草した故に
祟られたりと迷信家いふ

Fok-o 〔動〕海豹^ホ

海豹を密猟せんとエトロフの
フ^ホー^ホコ^ホ(方向)指して猟船を漕ぐ

Fokus-o 〔光〕焦点

法華經は大光明の^ホク^ホ点^ホと
数珠もみながら^ホク^ホー^ホン^ホ(法苦僧)言ふ

Foli-o (一) 葉, (二) 葉状物, 薄板 (金属な^ホどの) (三) 紙一葉
木枯に木の^ホク^ホは散りて跡も無く
城の馬^ホ場^ホの^ホリ^ホー^ホオ^ホ(堀を)埋む

Fond-i 創立す, 設立す

一億の資^ホン^ホデ^ホイ^ホ(本で)私立銀行を
創立するとキツイ御自慢

Fonetik-o 声音学

声音学いと熱心に修行して
胸腹健全^ホネ^ホテ^ホー^ホコ^ホ(骨定固)となる

Fonograf-o 蓄音機

蓄音機かけつつ^ホノ^ホラ^ホー^ホフ^ホオ^ホ(フ翁の倶楽房)を
なつかしみるる夕暮の室

Font-o 泉, 源

水道の栓を放てば滝の如く
泉は^ホン^ホト^ホ(奔騰)するなり

Fontan-o 噴水

噴水を庭に造りて氷店
開業するから資^ホン^ホター^ホノ^ホ(本頼)む

For 〔副〕あちらに, 遠方に

此^ホ方^ホには水筋がないと技師が曰ふ
是非なくあちらに井戸をば^ホル^ホ(掘る)

Forges-i 忘る, 置忘る

蚊のなやみ忘るゝ様になりけり
^ホル^ホゲ^ホース^ホイ^ホ(掘る下水)道の御蔭で

Forô-i 鍛ふ

因伯の鋼鉄もちて鍛^ホふたる
鍛にて井戸を^ホル^ホヂ^ホ(掘る爺)さん

Fork-o 肉叉, フーク

^ホォーク^ホにて豚の丸焼きうまそうに
喰つて^ホル^ホコ^ホ(掘る子)供連中

Form-o 形, 形態, 形式

彫刻師^ホ形^ホ正しく観音の
聖像^ホル^ホモ^ホ(彫るも)仏徳と喜ぶ

Formal-a 形式の

形式の変つた道具そつと求め
夜半ひそかに^ホル^ホマー^ホら^ホ(彫る爪)かな

Format-o 〔印〕書籍の大きさ, 形, 判

図書館の火事勃発し逸早く
^ホル^ホマー^ホト^ホ(棄^ホる窓)の書籍の大きさ

Formik-o 〔昆〕蟻

甘柿を^ホル^ホミー^ホ(擲る実)コ^ホ(小)蟻が山なして
右往左往と蜜をば運ぶ

Formul-o (一) 公式, 定則, (二) 書式

公式に^ホル^ホム^ホー^ホろ^ホ(掘る室)こそ世の疑惑
三^ホ五^ホを教の様に受けない

Forn-o 炉, 煖炉, 竈

別荘に**炉**を**フォルノ**(掘るの)は老人の
冬の寒さを防ぐためなり

Fort-a 強き

力**強**き牛に鋤をば曳かせつゝ
深く**フォルタ**(掘る田)ぞ江州百姓

Fortepian-o ピアノ

墮落生法界節を歌ひつゝ
フォルテ(放流手)**ピアノ**(ピアノ)奏でて巡る

Fortik-a 堅固なる, 丈夫なる

堅固なる穴倉深く築かんと
懸命に**フォルティカ**(掘る地下)室かな

Forum-o 議政広場(ローマ)

代議員**議政広場**に集まりて
欠点の穴**フォルモ**(掘るも)羅馬は

Fos-i 掘る

高^{タカ}の尾の山里に往きて杖の先で
清泉を**掘る**弘法**フォース**(法師)

Fosfor-o 〔化〕磷

磷もゆる墓場の松に梟鳥
「**フォスフォール**」と臆げに啼く

Post-o 柱, 主柱

杉の材生皮むいて天津日に
フォスト(乾す)と狂はぬ柱とぞなる

Fotograf-o 写真

暗室で**写真**を現像する術を
称して**フォトグラフ**(放燈暗ら法)と言ふ

Frag-o 〔植〕草莓(果)(靈界物語参照)

草莓アルゼンチンの原野にて
むしつてふら**ラゴ**(ふら御)馳走になる

Fragment-o 断片, 碎片

靈界の**断片**少し会得して
フラグメント(諷落愚迷遠徒)が覚式語る

Fraj-o 〔動〕卵塊(魚又蛙などの)

ふら**ラヨ**(ふら酔)うたる人の足の様に
魚や蛙の**卵塊**漂ふ

Frak-o 礼服, 燕尾服

礼服を着けて家をば**ラコ**(ふらっこ)と
千鳥足して年礼に巡る

Frakas-i 打砕く, 打割る

怒る児に芋の天**ラ**(ふら)**カース**(菓子)
やれば, ヤンチャ起して**打砕**くなり

Frakci-o 部分, 〔数〕分数

一**部分**様子を知らぬ人の前に
フラクツィオ(法螺口)を吐く二代大隈

Fraksen-o 〔植〕秦皮^{ホト}

秦皮の柱や板で家を建て
ラッセノ(風雨落成の)時に家^ヤ移り

Framason-o 共済組合員

身^ミ体^タの**ラマソーノ**(喇^ラ嘛^マ僧の)
如くなる, **共済組合員**の蒼^サ顔^ガ

Framb-o 〔植〕えぞいちご(果)

えぞいちご匂ひ目出度く形丸し
故にエス語で**ラムボ**(風蘭坊)と言ふ

Frاند-i 美食す, 美味を好む

ラディ(ブランドー)呑んであとから種^{タネ}と
美食するなり俄成金

Frangol-o 赤楊^{ヤナギ}(靈界物語参照)

赤楊の枝に**ラゴ**(不^フ乱^{ラン}ゴロ)ゴロと
狸につままれイク, サール居る

Frang-o ふさ (衣服, テーブル掛などの縁につくる)
衣服なりテーブル掛の縁に附す, ふさは
ぶらッラ^ンヂ^ャ (ぶら常) 住さがる

Frank-o 法^フ (仏国貨幣凡四十銭)
仏国の貨幣を僅一法
落してッラ^ンコ (ぶらんと) 往生する馬鹿

Frap-i 叩く, 叩きて音をさす, 驚かす
ふらラー^ピ (ふらピー) ピーピー吐^カす
髭老爺, 滅多矢鱈に膝坊叩く

Frat-o 兄弟
ふらッラ^ト (ふらと) 兄弟手をひき郊外を
散歩して居る日曜の朝

Fraül-o 未婚者 (男)
ふらッラ^ウ (ふらうろ) つきまはり未婚者が
腰弁当で女房を探す

Fraz-o (一) 語句, 文句 (二) [文] 文
覚式や感式統一主張して
現代語句にッラ^ウ (触らそう) とする

Fregat-o [海] 一種の旧式軍艦
新式の鋼鉄艦にッレ (触れ) ガート (轟と)
沈没したる旧式軍艦

Fremd-a 外国の, 外来の, 見馴れぬ
外国の新聞に出た危険記事は
我国法にッレ^ダ (触れんだ) らう

Frenez-o 瘋癲, 狂気
気は別にッレ^ネ (触れねど) さりながら
世人帰^キ神^シを瘋癲と誤る

Fresk-o 聖画
大いなるお尻をそちらへッレ^コ (振れ少) し
お前のおいどで壁画がかくれる

Freß-a 新鮮なる, 新しき
大^{ダイ}本^{ホン}ッ^部 (部^フ) レー^シ (霊社) に参り新鮮なる
魚を供へて祖霊祭する

Fring-o [鳥] 河原ひわ
河原ひわ^{ビー} (河原ひわ) と谷渡り
此方の枝にッリ^ンゴ (振りん子) する

Fringel-o [鳥] ひわ
ひわの鳥梢にとまりヒハヒハと
ッリ^ンゲ^ー (振りん芸劣) するぞ淋しき

Fripon-o 悪漢
短刀呑み又ッリ^ボ (無理暴の) 限りをば
尽して人を悩ます悪漢

Fris-o 粗羅紗, [建] 絵様帯
粗末なる羅紗を貰つたッリ^ン (振り袖) には
どうしても成らぬ絵様帯にて

Frit-i 油揚げにす
夕立がッリー^テ (降りて) 百姓夏休み
馳走に豆を油揚げにす

Frivol-a 軽佻の, 思慮なき, たわいなき
軽桃の挙動をなして上下する, 奴を
棒^バッリ^ヴ (振りぼうふら) 虫といふ

Friz-i 髪をちぢらす
頭^カッリ^ズ (振り随) 分凄^イ顔をして
髪をちぢらす格式統一

Fromag-o 乾酪, チーズ
ッロ^マ (浮浪魔女) 乾酪 (歓楽) にのみ耽^ラ
んと, イチ^ズ (一途) に肉を売り歩くなり

Fru^ンt-o 前部, 前面
行列の前部はッロ^ト (ふろんと) 消えにけり
落橋と知らず川に陥り

- Fronton-o 〔建〕破風
家根の破風上げるおろすと八釜しく
ッロントーノ(風論党の)威張りし昔
- Frost-o (一) 冱寒, 霜天, (二) 氷凍, 氷結
棚池の氷結したる霜天に
暖まるためッロスト(風呂すと)言ふ
- Frot-i 擦^フする
軽石で踵の垢を落さんと
横町へ行^フてッローティ(風呂で)擦する
- Fru-a 早き(時刻の)
ッルーアめ(降る雨)に自動車駆りて来て見れば
少し時刻の早きに苦しむ
- Frugileg-o 〔鳥〕白嘴鴉^{シハガス}
白嘴の鴉は霊鳥なりと聞く
反哺の孝あるッルギレーゴ(古る儀礼護)
- Frukt-o (一) 果実, 果物, (二) 結果
山猿が柿の果実を争ふて
尾をッルト(振る苦闘)するぞ可笑しき
- Fruant-o 額^{ヒタ}
額をば容易にッルト(振ると)下手をする
承認したと人に思はれ
- Ftiz-o 〔医〕肺結核
貴婦人が肺結核に悩まされ
悲観の果てはッティーゾ(淵ぞ)投身
- Fuk-o 〔植〕海藻, クロツノマタ
文机の埃をフーコ(ふかう)と海藻の
煎じ汁をば雑巾に浸ませり
- Fulg-o 煤, 油煙
タタキフゴ(振るご)もくを払ふ煤を掃く
夏期清潔のいそがしさ哉

- Fulm-o (一) 電光(氣象空中放電)
(二) 閃光(マグネシウムなどの)
雨フモ(降る濛)々として雲が立つ
夕立の空に電光ひらめく
- Fum-i (一) 煙る, 煙を出す, (二) 喫煙す
煙るとも喫煙すればシガレート
言ふに言はれぬフーミ(風味)ありけり
- Fund-o 底, 奥
フンド(忿怒)して御^ミ魂^ミを痛め底の国
落ちざるやうに善意に解せよ
- Fundament-o 基礎, 土台, 根本
足を以て頻りにフンダ(踏んだ)メント
(面倒)を, 構はず基礎を固めんがため
- Funebr-o (一) 喪, 喪期, (二) 喪服
フネーロ(船風呂)に死^シ骸^カを乗せた葬列の
後より喪主は泣きながら行く
- Funel-o 漏斗^{フツ}
漏斗の様な渦巻く鳴戸灘
あやつるフネーロ(船鱸)危ふかりけり
- Fung-o 〔植〕菌^{キノコ}
燐質の菌を喰へばフンゴ(分後)に
毒がまはりて嘔吐催す
- Funkci-o (一) 職務, 機能, 作用, (二) 〔数〕函数
フンツィーオ(糞口)を職務とはいへ治療する
醜の作用を痔医とこそ言ふ
- Funt-o 封度^{フド}(英国の重量)
百封度ばかり貨物を沈没させ
これもフント(不運と)諦めて居る
- Fur-o 〔動〕鼯の一種, (二) 毛皮
フーロ(風呂)に浴り臭い尻を放る不作法な
奴は鼯の一種なるべし

Furaĝ-o 秣マツ

秣をば早くしまつて倉に入れ
又夕立が**フラーチ**（降らう）とする

Furi-o 〔神話〕復讐を司る女神（地獄三神の一）

復讐を司る女神**フリーオ**（不利を）
敵に与へて地獄へおとす

Furioz-a 怒り狂へる，狂暴の，猛烈なる

髪を**フリオザ**（振り横坐）しながら獅子虎の
怒り狂へる如き格式

Furor-o 讃嘆，熱狂，人気

人類愛善活動を見て**讃嘆**し
人氣が**熱狂**してる**フローロ**（不老勞）かな

Furunk-o 根太キタ

ねぶとうて**根太**の病みも苦にならず
首**フルンコ**（振る子）の夜船漕ぎ初む

Fusten-o 回絨（一種の強き綾織綿布）

回絨とは一種の強き綾織綿布
野に**フステノ**（伏す帝の）戎衣とこそなる

Fuŝ-i 拙くものす，下手に演ず，下手なものを著作す

フーシ（諷詩）もて拙くものする偽ニセ人ドを
教へ導く三ミ五イの道

Fut-o 呖ハ

フート（封筒）をば**呖**（ふいと）開けば人のふみ
案に相違の梟カウどりかな

G

Gad-o 〔一〕干鰯，〔二〕鰯族（魚）

此のざま**ガード**う（が何う）して二目と見られ
ようか，干鰯の様になつたみいらを

Gaj-a 快活なる，陽気なる，華やかなる

快活なる木遣り謳つて**ガーヤ**（ガヤ）ガヤと
上棟式に町内を巡る

Gajl-o 樹瘻（虫のために樹に生じたる瘤），没食子

虫のため樹**ガイロ**（が色）々の瘻を出し
いとも**樹瘻**ぎ（不思議）な姿となれる

Gajn-i 儲く，得，中る，勝つ（投機，賭博などに）

月給取り生活難を免れんと
職務以**ガイニ**（外に）夜業で儲くる

Gal-o 〔生理〕胆汁

胆汁を吞めば身体壮健に
なるとか医者**ガーロ**（が老）人に教ふ

Galant-o 松雲草，粹人，やさ男

ガラント（伽藍堂）の庭に松雲草植えて
粹人，やさ男が独居してゐる

Galanteri-o 装飾品，小間物類

色々の装飾品を準備して
ガラテリーオ（伽藍邸裡を）綺麗に飾る

Galantin-o デエリー肉

ガランティノ（伽藍邸の）**チエリー肉**は左程にも
高価ならねば買つて販らう

Galer-o 〔史〕往時の橈船（仏国にては罪人をし）

牢獄をの**ガレロー**（逃れ鱸）をば漕カウぎながら
橈船に乗りて罪人走る

Galeri-o 〔一〕棧敷（劇場の），〔二〕廊下，〔三〕美術品
陳列室，陳列館，〔四〕地下交通路，坑道

顔見せと言ふので**棧敷ガレリー**（がれり）
オ（居）る座席なく我家に帰る

Galon-o 金銀線（衣服，帽子などに附くる）

金銀線服や帽子にピカピカと
獄吏**ガローノ**（が牢の）巡検をする

- Galop-i 跳^カく、疾駆す(馬に言ふ)
馬方**ガローピ**(が炉火)の傍で沓を跳く
明日も荷馬を働かすため
- Galoš-o (一)木底靴 (往時靴の上)に穿ちし, (二)表靴^{スズ}
神官**ガローシ**(が老少)男女の別ちなく
足に穿てる木底靴かな
- Gam-o 〔音〕音階
言霊のアオウエイの音階を
覚る真人や声**ガーマ**(が猛)烈
- Gamaš-o 脚絆, ゲートル
旅の空脚絆忘れて**ガマーシ**(我慢しよ)と
道行きながら尻から**ゲートル**(げて居る)
- Gangli-o (一)〔解〕神経節, (二)〔医〕髓鞘瘤
ガングリーオ(玩具類を)集めて小供遊ばんと
神経節の様に集^メい来る
- Gangren-o 〔医〕脱疽
脱疽をば治療せんとて入院すれば
ガングレーノ(雁暮れの)空に飛ぶなり
- Gant-o 手套^ヲ
ガント(頑と)して母の言葉を聞かぬ子が
冬の旅行も**手套**はめぬ
- Garanti-i 保証す, 担保す, 引き受く
ガラッティイ(伽藍邸圀)不時の災厄**保証**する
ためとて火災保険を約す
- Garb-o 束^ス(主に穀物、藁などの)
稲の束集めて荷なひ帰りに行く
凶作なれば肩も**ガルボ**(軽穂)
- Gard-i 警衛す, 防ぐ, 看守す
社会党襲ひ来ると恐^コわ**ガルディ**(がるで)
允請巡査を雇ひ**警衛**す

- Gardeni-o 〔植〕梔子^{テシ}
梔子の花庭前に白く咲き
いとも身**ガルデニーオ**(軽で匂ふ)ゆかしさ
- Gargar-i 含嗽す, 洗条す
ガルガーリ(ガリガリ)と歯科医が削る歯の
あとで, 含嗽するなり硼酸水を
- Garn-i 飾附ける(衣服、食品に)
衣服及び食品にまで**飾附ける**
モダン**ガルニ**(娘^{ガル}に)困る親父よ
- Garnitur-o 飾具, 飾附品, 装具
装具または**飾附品**に金入れる
モダン**ガルニトウーロ**(娘に頭老)呆れる
- Garnizon-o 〔軍〕守備兵
小男が顔をしかめて厭^イ**ガルニ**(がるに)
ゾーノ(象の)守備兵させる興業師
- Garol-o 〔鳥〕かけす, 榎鳥
榎鳥と**かけす**が一度に啼く声は
〔**ガローロ**〕と耳に聞こゆる
- Gas-o 瓦斯, 気体
放屁剤そつと吞まされ芸妓等が
席に侍れば**瓦斯ガーソ**と(がそと)出る
- Gast-o 客, 賓客
ガスト(瓦斯燈)のしるし目当に客が来る
木賃ホテルのエライ繁昌
- Gaz-o 紗
紗の服を着けたる人は田舎には
ガーゾ(数)へる程より今日^ジは無い
- Gazel-o 〔動〕羚羊^{ゼウ}の一種
羚羊の一種なるべし早うとて
呼子指揮して急**ガゼーロ**(急がせろ)

Gazet-o 定期刊行物, 雑誌, 新聞, 官報
ガゼート(雅贇党)詩歌や俳句を奨励の
ために雑誌の刊行をなす

Ge- 〔接頭〕男女を併せ示す
〔ゲ〕と言へる接頭語こそ男女をば
併せて示す詞なりけり

Gelaten-o 〔化〕精製膠, ゼラチン
膠をば精製したるぞゼラチンを
「ゲラテーノ」とエス語にて言ふ

Gem-o 宝石, 宝玉
世は開け技ゲーモ(芸も)進んで宝石や
宝玉迄も人造する

Gencian-o 〔植〕竜胆^{リヂ}
畦なればゲツィアーノ(現地彼の)野路に
行つて見よ, 竜胆の花の今が盛りだ

Genealogi-o 系図, 系譜
系図又は系譜を偽造し田舎紳士が
ゲネアろギーオ(下根亜魯偽為を)振り廻はすなり

Generaci-o (一) 世代, 時代^(同時代の人) (二)〔動〕種類
誰人も同じ時代に生れながら
ゲネラツィーオ(下根等智位王)の区別あるかな

General-o 將軍, 〔軍〕陸軍大將, 將官
將軍の陸軍大將が総指揮の
下^ニに一般ゲネラーろ(下根等勞)苦す

Geni-o (一) 天才, 靈才, (二) 守神, 神仙
世の中に在りとあらゆるゲニーオ(芸に応)じ
出色あるを天才と言ふ

Genist-o 〔植〕えにしだ
ゲニスト(実にすつと)した花なるよ細長き
枝に咲いてるえにしだの花

Genitiv-o 〔文〕持格
文法の持格正しき明文は
ゲニティーヴ^オ(実に堤防)を流す様なり

Genot-o 〔動〕麝香猫の類
ゲノートは麝香猫の類なれど
鼠捕る様なゲノート(芸能等)はなし

*Gent-o 民族
民族をゲント(現と)幽との別ちなく
救ひ導く三^ミ五^イの教^ウ

Genu-o 膝 〔解〕膝関節
膝栗ゲ(毛)いヌーオ(犬を)伴ひ妹が
四国巡礼も亡き親のため

Geodezi-o 測地学
測地学者ゲオデズィーオ(下汚泥地を)一見し
コリヤたまらぬと顔をしかめる

Geografi-o 地理学; Geologi-o 地質学
地理学は「ゲオ^ラフイーオ」地質学は
「ゲオろギーオ」とエス語言ふなり

Geolog-o 地質学者
ゲオろーゴ(下汚路護)の為に村長村民が
地質学者を雇ひて調査す

Geometri-o 幾何学
ゲオメ^リリーオ(下^ゲ男^ヲ娶り己^ヲ)のが養子とする
学者, 幾^何学^ヲがありと聞きてゆ

Gerani-o 〔植〕げんのしようこ
ゲラニーオ(下郎兄を)助けんために弟が
げんのしようこを野辺に採りつ

Gerundi-o 〔文〕動詞的中性名詞
動詞的中性名詞はエス文法, ゲル^ンディーオ
(下流云辞意応)といふぞゆかしき

Gest-o 身振り, 手まね, 仕形^{シカ}
 犬と猿寄席でゲスト(芸すと)聞きしより
 身振り見んとて木戸銭払ふ

Gigant-o 巨人(想像上の)
 傘の様な眼をむく巨人想像上の
 ギガント(義眼と)見れば驚きも無し

Gilotin-o (一) 斬首合, 断頭機, (二) 〔機〕裁断機
 ギロティーノ(偽老帝の)十六世をば叛徒等が
 斬首台上に乗せて革命

Gimnastik-o 体操
 国民のギムナステーコ(義務為す稚児)学園で
 教師と共に保健体操

Gimnazi-o 高等学校
 高等学校専門学校はアカデミーオとエス語言ふ
 「ギムナズィーオ」と又も呼ぶのか

Gips-o 〔鉱〕(一) 石膏, (二) 焼石膏, 白灰
 石膏はギッソ(岐阜其)の他の鉱山を
 掘りて製造したる粉なり

Girland-o 花飾(花葉などをつなぎたる)
 花飾樹てゝ開業式祝ふ
 酒呑み過ギラッド(ぎる乱動)するあり

Gitar-o 〔音〕ギター(六弦琴)
 ギターロ(儀太郎)が六弦琴を携へて
 伶人となり教会に行く

Glaci-o 氷
 厳寒に氷閉させる小^ラツィーオ(棕^ラ池^ヲを)
 鯉捕へんと船をやるなり

Glad-i 火熨斗^{ビシ}をかける
 破れ^ラーディ(倉で)下女が衣服の皺伸ばす
 ために隠れて火熨斗をかける

Gladiator-o 角闘士(羅馬)
 角闘士が^ラディアトーロ(倶楽爺亜当路)
 に許可を得て, 市の盛り場で開業してゐる

Glan-o 〔植〕堅果, 団栗^{ダナシ}
 破れ^ラーノ(倉の)中に納めた団栗に
 雨がにじみて芽を吹きにけり

Gland-o 〔解〕腺
 淋巴腺耳下に脹^ラれてぐ^ラッド(ぐらんと)
 石^ラ転^ラの如^ラぶらさがりけり

Glas-o コップ, 玻璃杯
 破れ^ラーソ(倉掃)除をすれば茶土瓶や
 コップの欠けが転がりて出る

Glat-a 平滑なる, 滑かなる
 平滑なる野路別け行けば百姓家^ヲ
 米^ラータク(倉沢)山建てゝあるかな

Glav-o 劔, 刀
 入営して佩劔すれば勇ましく
 なま^ラーヴ^ヲ(くら坊)主も殊勝に見える

Glazur-o 釉薬(ツヤグスリ)
 楽焼きの釉薬塗れば^ラズーロ(ぐらし色)に
 焼き上りたる今日の嬉しさ

Glycerin-o 〔化〕グリセリン
 秘結した時に注射するグリセリンを
 「^ラリツェリーノ」とエス語言ふなり

Gliciriz-o 〔植〕甘草^{カンサウ}
 甘草の産地を探^ラリツィリーゾ(ぐり地理ぞ)
 頼りとなして採薬者出発

Glikoz-o 〔化〕葡萄糖
 化学用に必要なれば葡萄糖を
 せんぐりせん^ラリコーゾ(ぐり買ふぞ)よ

Glim-o 〔鉦〕雪母

大江山雲母産すと聞きつけて
谷間を探りーモも(ぐり百々々)伝ひ行く

Glit-i 滑走す, 滑る

雲母砒探りーティ(ぐりて)断崖踏み外つし
谷間に滑走するぞ危ふき

Glob-o ①球体, 球,

②ランプのはや, ランプの球傘

球体に目鼻を附けて禿爺に
お前の首とろーボ(愚弄冒)漬

Glor-o 光栄, 榮譽, 盛名

無抵抗主義をば光栄と遊ばして
よくも負けたりろーロ(愚弄老)人

Glu-o 膠^{ニワ}, 糊, 糊^{コシ}

塗物の椽^ノの脱^ッるーオ(ぐるを)膳部は
膠の脂^アに若くものは無し

Glut-i 嚥下す, 吞込む

精神が俄に^ッるーティ(狂ふて)モルヒネを
恣気の余り嚥下する婦女

Gnom-o 〔神〕地中の精

地中の精怪異を為すと恐れてる
学者は^ッノーモ(愚のもの)ともなるもの

Gobi-o 〔魚〕沙魚^{サウ}属, 川沙魚^{サウ}

親友から珍らし魚をゴビーオくる(五尾送る)
沙魚に属する魚族なるらむ

Golf-o 〔地〕湾

海水の少しく濁^ッる^フオ(ごる方)面は
東京湾の入口と知れ

Gondol-o 平船^{ヘフネ}(特にベネチヤの)

ベネチヤの平船見れば下劣なる
ゴドーロ(権泥)坊が乗り込んで居る

Gorg-o 〔解〕咽喉

咽喉はスエズ運河に譬ふべし
波浪はいつも濁^ッる^チオ(ごる常^チ)水

Goril-o ゴリラ, 大猩猩

大猩猩^{ゴリラ}は脚も長ければ
ゴリーロ(五里路)位は一と時に走る

Gotik-a 〔建〕コチック式の

ゴチック式の建築せんと工学士が
其のゴティーカ(後地下)を厳査してゐる

Graci-a しとやかなる, 優しき, 優美なる

頭をばさうな^ッラツ^ーア(段^ラちや)腹が立つ
如何にしとやかなる人の児も

Grad-o 度, 級, 程度, 品等, 位階

まつし^ッラー(幕^シ地^ラ)ド(驚^シ)級の艦の程度より
越えてならぬと平和条約

Graf-o 伯爵

伯爵を授けられんと運動して
男爵得たり小^ッラーフ^オ(倉法)相

Grafit-o 〔鉦〕石墨

石墨の鉦石見当てて鉦山師
まつし^ッラフ^ィート(ぐら費途)の計算を急ぐ
墨色に依りて人の

Grafologi-o 性質を鑑識する法

墨色を見る名人の鑑識は、^ッラフ^オるギーオ
(愚良宝楼偽異汚)の鏡なるらん

Grajn-o 粒, 穀粒

是^ッラ^ィノ(位の)粃の粒なら今年は
先づ豊作と老農が曰ふ

Gram-o グラム(衡量, 二分六厘七毛)

衡量の二分六厘七毛を
グラムと言はず「^ッラーモ」といふ

Gramatik-o 文法

文法を知らねど詩歌も文章も

グラマティコ(ぐら間違)た論文書かず

Granat-o 〔植〕柘榴(果)

柘榴が裏の林に実つてゐる、いグラナート

(いくらなつと)採つて喰て呉れ

Grand-a 大なる

亜米利加の大統領の「グラダ」は

実にも大なる人物ぞかし

Grandioz-a 偉大なる, 壮大なる, 堂々たる

グラディオオーザ(グランデ王座)なけれど大統領

いと壮大なる政庁に住む

Granit-o 〔鉱〕花崗岩

花崗岩いしグラニート(石倉にと)詰め込んで

市中の需要者待つて石商

Gras-o 脂肪

脂肪分ある食物を多く採り

遊びグラソ(暮さう)と富豪が言ふ

Grat-i 搔く, ひっかく

米グラティ(倉で)蚊に刺されたる禿頭

かゆいとばやき爪で搔くなり

Gratul-i 祝す, 慶す, 賀す

閉ざされた穴グラトリー(倉通り)成婚を

祝するために岩戸舞する

Grav-a 重大なる, 容易ならぬ

熱心に穴を探ラヴァ(ぐらば)重大なる

事件あらんと警吏四ツ這ひ

Graved-a 妊娠せる

妊娠せる女房の腹と布袋さんと

ラヴァーダ(比べた)ら勝ち負けは無し

Gravur-i 彫刻す(画, 文字等を)

絵画, 文字等を彫刻するといふ

ラヴーリ(倶楽部売)出す貧乏会員

Gren-o 穀物, 〔植〕穎果

歳レーノ(暮れの)師走が来ても来年食ふ

穀物も無き貧乏百姓

Grenad-o 〔軍〕榴弾

戦争に榴弾などは使用して

レナード(呉れなど)平和会議員曰ふ

Gri-o (一) 碾割(麦又燕麦), (二) 精製粉

麦は燕麦などの碾割飯を

喰ふより私はかちリーオ(栗を)食ふ

Grifel-o 尖筆, 尖刀, 彫鑿

尖筆で下絵をかいて尖刀で

仏像などをぐりリフェーろ(ぐり彫らふ)

Gril-o 〔昆〕蟋蟀

蟋蟀も冬の寒気に堪へ兼ねて

せんぐりせんリーろ(ぐり炉)辺に集ふ

Grimac-o 渋面, 顰面

高姫が渋面つくり川の辺を (霊界物語参照)

巡リマーツ(ぐり松を)拝む可笑しさ

Grimp-i 攀ち登る, 這ひ上る

断崖をリビ(ぐりんび)と踏み外づし

命からがら這ひ上るなり

Grinc-i 軋る, ぎしぎしいふ

リツィ(倶輪対)鉄路の上をぎしぎしと

重さうに軋る汽車の行くかな

Grip-o 流行性感冒

流行性感冒に病めばリーボ(周圀方)より

医者看護婦が心配してくれる

Griz-a (一) 灰色の, (二) 斑白の, 白髪交りの
灰色の空をば巡^リーザン(ぐり暫)時にて
飛行スミスは降^リり来たれり

Grog-o 温酒(飲料)
咽喉かわき温酒を飲めば美味にして
^ッローゴ^ろ(ゴロゴロ)とのどが鳴るなり

Gros-o 〔植〕まるすぐり, ゲーズベリー
^ッローソ(愚老僧)四角な頭逐いやりて
まるすぐりつ寺を守らず

Gros-o グロス(古独逸貨幣の名)
ゲロスとは古独貨幣の名なれども
貨幣欲しさに気^ッローシ^ョ(苦勞商)売

Grot-o 洞穴, 岩屋
洞穴を探^ッロート(ぐらうと)して四ツ這いに
なつて頭を打つた迷官

Grotesk-a 奇怪な, 変挺な
奇怪な, 変挺な奴を現代の
ハイカラ連が「^ッロテ^スカ」と言ふ

Gru-o 〔鳥〕鶴
真^ッ鶴の大空高くかけ巡^ッルーオ(ぐるを)
見つつ楽しき出^ッ石^シ野の春

Grumbl-i ブツブツ不平を言ふ
ブッ^ッと不平を言ふてプロレタリアが
^ッル^ムプ^リ(群むぶり)ぶり尻ふりあるく

Grund-o 地盤, 地面
柔かき地面の地盤固めんと
今しばらくは^ッルド(グラウンド)にせむ

Grup-o (一) 群, (二) 団体, 集合, 班
軍人の群がる^ッルーボ(ぐる包)囲して
桶伏山の聖壇破る

Gruz-o 砂礫, 砂利, 碎石
碎石や砂礫や砂利でも^ッル^ーゾ(狂ふぞ)と
〇〇議員を攻撃してゐる

Guberini-o 県
県庁の小役人等が火葬場に
^ッベル^ニーオ(燻べる荷を)どてどて言ふなり

Gudr-o 〔化〕タール
色濃く塗りタール(たる)橋の欄干に
もたれてぐうゲ^ーロ(ぐう盗)坊眠る

Guf-o 〔鳥〕大鴟鵂^{オミツ}
〔ゲ^フ〕と大鴟鵂が樹に止まり
下界ながめて馬鹿にしてゐる

Gulden-o 塊太利貨幣(凡八十錢)和蘭金貨(凡八円)
「ゲ^デーノ」単位は塊貨八十錢
和蘭金貨凡八円

Gum-o ゴム, 樹膠
ゴムの下駄履いて歩めば石道も
ゲ^ーモ(ぐーも)すも無い安楽なもの

Gurd-o 〔音〕オールゴールの類(小オルガン)
ゲ^ルドはオールゴールの類なれど
何時ゲ^ルド(狂ふと)も訳が分らぬ

Gust-o (一) 味, (二) 趣味
忘れぬ味はゲ^スト(ぐすつと)八兵衛と
寝るこそ我身の趣味なりにけり

Gut-o 滴, 水滴
松の露只一滴を呑んだ身は
ゲ^ート(ぐつと)やりたいコツプで水を

Gutaperk-o グタペルカ
グタペルカ又グタペ^ルコ(具喰べる児)と母親が
海苔巻酢司を児に尋ねてる(具は中の真なり)

Guvern-i 子供の世話をす
薪をば**グヴェルニ**(くべる兄)と姉さんが
冷えぬ様にと**子供の世話をす**

Gvardi-o 〔軍〕衛兵, 守衛隊
衛兵を四方に**グヴァルディーオ**(配る帝王)の
居所は何れも広く美はし

Gvid-i 案内す, 導く, 手引す
十字路に立てる巡査に道問へば
物をも言はず**グヴィーディ**(首で)案内す

Ġ

Ġarden-o 庭園, 園, 花園
ヂャルデーノ(砂留底の)水美はしき泉水を
扣えて広き稲畑庭園

Ġem-i 嘆声す, 嘆声を発す
時雨**ヂェーミ**(蟬)声も細りて秋近く
嘆息するは衣無しの民

Ġemel-o 双生児ツゴ
又してもやく**ヂェメーロ**(ヤクザ女郎)が双生児
まで, 生んで親まで泣かせて居るのだ

Ġen-i 困らす, 迷惑さす, うるさがらす
留学生放蕩したと聞いてより
ヂェーニ(銭)送らず親が困らす

Ġendarm-o 憲兵
ヂェンダルモ(前足るも)足らぬもよしと
憲兵長が少数兵を率ひてかけ出す

Ġeneral-a 一般の, 普通の
一般の世人のために**ヂェネラー**ら(善念良等)
三々五々教の道を宣伝

Ġentil-a 丁寧なる, 礼を知れる, おとなしき
小坊主がいと丁寧なる態度にて
ひき茶すゝむる**ヂェンティー**ら(禅寺)哉

Ġerm-o 〔博〕幼芽, 胚種
ヂェルモ(地選るも)選らないもない
種子蒔けば, 幼芽忽ち萌え出づるなり

Ġi 〔代〕それ(三人称中性単数)
「**ヂ**」と言へば**中性単数三人称**
それをば**それ**とエス語用ゆる

Ġib-o 背隆肉, 肉峰
背隆肉高くふくれて嘲罵され
ヂーボ(自暴)自棄して大酒を呑む

Ġin-o ギン酒
芳香の**ギン酒**は今年八十の
ヂーノ(爺の)好物だ買つて帰らふ

Ġiraf-o 〔動〕麒麟
ヂラーフ(治良法)の五^ニ六^ニ七^ニの御代を寿ぎて
麒麟鳳凰も現はれにけり

Ġis 〔前〕まで
手前から**ヂス**(辞す)まで免職させずして
使用してゐる太腹の主人

Ġoj-i 喜ぶ
御赦免の**ヂョーイ**(上意)を受けて遠流者
雀躍なして勇み喜ぶ

Ġu-i 楽しむ, 享楽する
城山は**ヂューイ**(重囲)の中にありながら
南洲茶坊主と囲碁を楽しむ

Ġust-a 正しき, 正当の, 恰度の
恰度の毛**ヂュスタ**く(糲子沢)山買つて来た
正しき値札附いて居るので

H

- Ha 〔間投〕 あゝ、はあ、おや (驚愕、歓喜)
ハ(齒)を出して**ああ、おや、はあと**驚愕し
又歓喜する周^ア章^マ者^カかな
- Hajl-o 雹、霰
雹、霰降りて忽ち山や野の
木々のハ^イろ(葉色)は錦とぞなる
- Haki 伐る (斧にて)、
斬る足下の塵**ハーキ**(掃き)清め斧もちて
柱にせんと大杉を**伐る**
- Hal-o (一) 大広間、(二) 売場 (主に飲食店の)
大広間人を**ハーる**(払ふ)て秀吉が
朝鮮征討の評定をする
- Haladz-o 悪気、有毒瓦斯
有毒な瓦斯が溜つてムカムカと
悪気催し**ハロードゾ**(腹胸臓)痛む
- Halebard-o 戟^キ(鉞附の槍)
ハレバ^{ルド}ド(遙々と)在満の友ゆ鉞附の
槍送り来ぬ記念の戟とて
- Halt-i 停まる
芸妓の身外にて**停まる**は不都合と
頭をばハ^エティ(はる亭)主の憎さ
- Hamak-o ハンモツク、吊床
庭園の木々の梢に**ハンモツク**
吊つて**ハマーコ**(浜子)が遊び浮かれる
- Hamstr-o 〔動〕野鼠の一種
豆のハ^ムスト^ロク(葉むしりとる)怪しき害物は
皆野鼠の一種なりけり

- Har-o 髪毛
黄^ツ楊^グの櫛もちて**髪毛**の塵**ハーロ**(払ふ)
後は鳥の濡羽色なる
- Hard-i (一) 鍊ふ、(二) 固くす、強くす
銘刀を**鍊ふ**刀鍛冶の弟子を
不調法したと頭ハ^ルデ^イ(はる爺)
- Harem-o 婦人部屋 (回教)
回教の婦人部屋には高貴なる
ハレーモ(晴紋)様の衣陳列してあり
- Haring-o 〔魚〕鯡^シ
ハリ^ゴゴ(破倫後)家鯡を沢山買ひ求め
腰強めんと日毎喰ふなり
- Harmoni-o 調和、和合、〔音〕諧調、和音
調和をば「**ハーモニー**」とか英語曰ふ
「**ハルモニーオ**」はエス語なりけり
- Harmonik-o ハーモニカ
ハーモニカを吹き鳴らし居る少女あり
ハルモニーコ(春もにこ)にこ花笑ひつつ
- Harmonium-o 小オルガン
妹のおハ^ルモニウ^ーモ(春も兄も)熱心に
小オルガンを朝から弾いてる
- Harp-o 堅琴
堅琴を倒して破損したと言ひ
怒つて尼の頭ハ^ルボ(はる坊)主
- Harpi-o 〔神〕鳥身女面の怪物
ハ^ルピー^オオ(春日を)遊び暮して帰るさの
森に鳥身女面の怪物
- Harpun-o 鉆^シ
ハ^ルブ^ーノ(春風の)そよそよと吹く海上に
鉆たづさへて捕鯨船出る

Haūt-o 皮膚

蚤虱ハ_ツト(這ふと)皮膚がうざうざと
気分も悪くかゆくするなり

Hav-i 有_ツつ

財産を沢山に有_ツつ富人は
世間に対してハ_ヴー_リ(派_リ振_リ)をきかす

Haven-o 港

高砂の智_リ利_ノの港へ三人が (霊界物語参照)
御ともに仕へハ_ヴー_ノ(侍べるの)照彦

Hazard-o 偶然, 骰子遊び

思ハ_ザ_ド(はざれど)橡_ノ面_ノ貌_ヲをふりにけり
骰子遊びに金を取られて

He 〔間投〕 (一)えッ, あら, おや (驚愕を表す声)
(二)もし, おい (呼びかけ)

「へ」と言へる詞はあら, おや, えッと驚愕を
表はすエスペラント語句なり

Hebre-o ヘブライ人

ヘ_レー_オ(平_凡ノ靈_ヲを)称してヘブライ人
と言ふ, 神の教を知らぬ民族

Heder-o 〔植〕常春藤_ヲ

鋸_ノ鎌_ノの常春藤(傷だ)少々受くるとも
ヘ_デー_ロ(へどろ)いと言ふ風_ニに延び立つ

Hegemoni-o 覇権

覇権者とゑらそうに言ふなヘゲモニーオ
(屁気も匂ふ)俺の尻なつと載いて置け

Hejm-o 家庭, 自宅

家庭のため自宅のヘ_イモ(摒も)繕_ヲふて
二百十日の防禦するなり

Hejt-i 焚く

山嵐烈しき冬の野火を焚く
危険少きヘ_イティ(平位地)に於て

Hekatombo-o (一)〔古希臘〕牛百頭の供物 (二) 大殺戮
古希臘牛百頭を殺戮し
神に供ふとヘカト_ムボ(幣貨富む坊)曰ふ

Heksametr-o 六脚韻の詩

六脚韻の詩文を読んでヘ_クサメー_トロ
(屁臭女徒勞)と, 呆れ果てたる国風鼓吹者

Hektar-o ヘクタール (仏蘭西の地積, 一町二十五歩)

仏蘭西の地積一町二十五歩を
毫「ヘ_クター_ロ」とエス語にて言ふ

Hektogram-o 百グラム

百グラムを「ヘ_クト_ララー_モ」とエス語にて
称名なせり「ム」と「モ」の相違で

Hektolitr-o 百リットル

五斗五升の薩摩薯喰ひブウブウと
ヘ_クト_リー_トロ(屁尿と律徒勞)百律_ヲ通_ル

Hektometr-o 百メートル

「ヘ_クトメー_トロ」は百メートルのエス語なり
名詞の尾にて少しく変れり

Hel-a (一)明かなる, 赫々たる

(二)淡き, 明るき (色にいふ)

「ヘー_ラ」とは明かなる, 赫々たる
第二の意義は淡き, 明るき

Helic-o 推進機, 〔幾〕螺線

推進機, 螺線がまはるヘ_リーツ_ヲ
(辺りそ)つと心得て通れ危険なる故

Helik-o 蝸牛

雨後の縁のヘ_リー_コ(側_ヲ)に角をふり立てて
蝸牛が一疋這ふて居るなり

Heliotrnp-o きだちるり草, 〔鉞〕血玉髓

血玉髓のやうなきだちるり草生えてゐる
ヘ_リオ_ロー_ボ(側_ヲを通らう坊)んち子供等

Help-i 助く, 補助す

駆風薬飲めば腹へ^ルピ(減るピー)と
放^レを放れば病人早く助くる

Hepat-o 〔解〕肝臓

肝臓の胆汁腸に浸入し
腹張り詰めてへ^パート(屁ぱと)出る

Herb-o 草

草の野に一夜に覆^フへ^ルボ(へる暴)風雨
地震と火事で東京の市^ヲ

Hered-i 相統す, 遺伝を受く

へ^レー^{ディ}(斃霊爺)曲^ヅ津^ヅの後を相統す
遺伝を受くる人の憑魔魅

Herez-o 異教, 異端

異教徒が神を崇めて朝夕に
一心不乱にへ^レー^ゾ(斃霊ぞ)祭る

Hermafrodit-o 男女両性具有の者

へ^ルマ^ッロ^ドイ^ート(昼間風呂同意人)這入れば
愧かしも, 男女両性具有の者見ゆ

Herni-o 〔医〕ヘルニヤ

ヘルニヤで脹^レれた病を癒さんと
嵩^ヲへ^ルニー^オ(減るに応)用投薬

Hero-o (一) 英雄, (二) 小説の主人公

小説の主人公なるへ^ロー^オ(兵老王)こそ
英雄道の模範なりけり

Herold-o 〔軍〕伝令使

伝令使敵と味方の中間を
へ^ロル^ド(兵路留動)の活躍をする

Hetman-o 大将(コザツクの), 首領

へ^トマ^ーノ(屁と魔^ノ)の如く隠れぬ支那軍の
大将, 首領は雲を霞と

Hezit-i 躊躇する, 迷ふ

支那のへ^ズー^{ティ}(兵実地)に向へば躊躇する
銃声聞いて逃げ迷ふなり

Hiacint-o 〔植〕ヒヤシンス

ヒヤシンス細美な花を賞美して
ヒ^アツ^ィント(日^ニ夜^ニ枕^ヲ頭^ヲ)に生^ケけて楽しむ

Hidr-o 〔動〕ヒドラ, 九頭蛇

何時のヒ^ーロ(日泥)坊入りしか見せ物の
九頭蛇は影なし檻の中には

Hidrarg-o 〔化〕水銀

水銀の様な氷の張つた夜に
炭のヒ^ーラ^ゴ(火取らる御)用心あれ

Hidrofobi-o 〔医〕恐水病

寒き夜に恐水病の患者等が, ヒ^ドロ^フォ^{ビー}オ
(火^ニ盗^ヲ放^ス屁^ヲを)やつて遁げ行く

Hidrogen-o 〔化〕水素

化学にて水素と言へる一元素
ヒ^ーロ^{ゲー}ノ(火泥下^ノ)の初めなるらむ

Hidrostatik-o 流体静力学

「ヒ^ーロ^{スタ}ティ^ーコ」とは流体静力学の名と
エスペラントは称呼して居り

Hidroterapi-o 水療法

冬近きヒ^ドロ^テラ^{ビー}オ(日縋袍照被衣を)脱が
されて, 水療法と川に飛び込む寒さよ

Hien-o 〔動〕鬣狗^{ヒエノ}

ヒエノ(比叡の)山あらゆる獣捕り終り
最早用なく鬣狗煮らる

Hierarh(k)i-o 階級制度

階級制度撤廃のヒエ^ラル^{キー}オ(日選らる既往)
の, 落魄道類に迷ひしソビエト国

Hieraŭ 〔副〕昨日

昨日まで斯くも寒さを知らざりき
今朝は霜降^り殊にヒエーラ^ッ(冷^ビえらう)

Hieroglif-o エヂプト文字 ((埃及), 難解字
埃及の難解文字を見せられて, ヒエロ^ッグリーフ^ォ
(非豪らがりを)發揮する学者よ

Higien-o 衛生学

天照るヒ(日)ギエーノ(義宮の)中に住む兵士
戦争のために衛生学読む

Higrometr-o 湿度計

湿度計を「ヒ^ッロメー^トロ」とエス語言ふ
「非具魯迷道路」ぢや訳が分らぬ

Himn-o 讃美歌, 聖歌

主の神を尊み奉る讃美歌は
ヒムノ(日務の)如く謳ふ信徒等

Hipertrofi-o 〔医〕肥大

肥大なる体格を持つ病人を, ヒペ^ルトロフィー^ォ
(日に減る徒勞費を)貪ぼる藪医者

Hipnot-o 催眠(状態)

ヒッノート(皮膚の外)針刺されても痛さをば
覚えて居ない催眠状態

Hipodrom-o 競馬場

此のヒポ^ドローモ(日ほど老もう)したる
心地なし, 負けて口惜しき競馬場の空

Hipokrit-i 偽善をなす, 矯飾す

神々を楯に偽善をなす奴は
ヒポ^リテー^ィ(非法苦利智位)の偽救主なり

Hipopotam-o 〔動〕河馬

河馬が水を放れて牝^メ一つ
ヒポターモ(日^ビ向^ッぼつこ)濡毛かはかす

Hipotek-o 〔法〕抵当権

益^メ刀^ト自^ジのヒボ(系^シ統^ス)テーコ(貞子)も儘
ならず, 抵当権は親にありせば

Hipotez-o 仮説, 臆説

五つのヒ(日)ポテーゾ(布^フ袋^タ僧^ゾ)やら六福神
仮説(設)劇場で芝居せしかな

Hirt-a 乱髪, 逆立てる, 剛毛の

乱髪, 逆立てる様剛毛の凄ごさに
ヒ^ルタ(昼立)ち妖怪寺を逃げ出す

Hirud-o 〔動〕水蛭^ヅ

人の血を吸ふヒルードろ(水^ミ蛭^ヅ泥^ネ)田にて
うねうねびよびよ浮き暮すなり

Hirund-o 〔鳥〕燕

燕鳥泥をくわえて朝と夕と
ヒル^ド(昼運動)をするぞ勇まし

Hiskiam-o 〔植〕韭沃斯^ス

韭沃斯をば「ヒ^キアーモ」とエス語曰ふ
韭か桜^ハか餅^モか分らぬ

Hisop-o 〔植〕ヒソツプ

ヒソツプの花を見ながら乙女子が, ひそ
ヒソーボ(ひそひそ微^ミ笑^セ)み遊び居たりき

Histeri-o 〔医〕ヒステリー

神経が過敏となりて情厚き
女は遂にヒ^ステリー^ォ(ヒステリーを)病む

Histori-o 歴史, 沿革, 経歳, 物語

古への歴史の上に有名な
ヒ^ストリー^ォ(狒主獲り王)の事跡導し

Histrik-o 〔動〕豪猪^マ

豪猪姿おそろし獣なれど, ヒ^ストリー^ォ
(ヒステリー児)とて名のみ優しき

- Ho 〔間投〕 あゝ, , おゝ, おや (驚愕, 悲嘆)
「**ホ**」といへばあゝ, おゝ, おやと驚愕や
悲嘆を表す詞なりけり
- Hoboj-o 〔音〕 一種の笛
ホボーヨ(方々よ)り**一種の笛**を贈り来ぬ
豎横篠^ヲを学ぶ吾身に
- Hodiaū 〔副〕 今日
今日の日は不思議なるかな若年の
恋人たちに方^ヲ**ホディーア**^ッ(方^ヲで会ふ)
- Hok-o 鉤^ヅ
高姫が**ホーコ**(宝庫)の**鉤**を盗み出し
如意の宝珠を奪^リりて帰りぬ (霊界物語参照)
- Hom-o 人, 人間
ホーモ(法網)を潜^ルる事のみ考ふる
人のみ多き今の世の中
- Homeopati-o 〔医〕 ホメオパシー療法
ホメオパシー療法是をエス語にて
「**ホメオパディーオ**」と尾^ヲを附けて曰ふ
- Homonim-o (→) 同音異義の語, (←) 同名異人
「**ホモニーモ**」同音異義の語^ヲなり
同名異人も此語を用ふ
- Honest-a 正直なる
正直なる僕^ハ奴^ハは主人のためならば
ホネスタる(骨捨^テたる)迄身を尽すなり
- Honor-o 名誉, 栄誉
阿**ホノーロ**(呆のろ)が**名誉**の職をかり得んと
選挙競争の果は落選
- Hont-i 恥づ
別荘がいとも立派に出来上り
是で**ホンティ**(本邸)に**恥づ**る事なし

- Hor-o 時間, 一時間
ホーロ(放浪)の旅を重ねて暮す身は
時間の観念片時も無し
- Horde-o 〔植〕 大麦
大麦の培養法は新らしく
深く**ホルデーオ**(掘る泥黄)鋤くなり
- Horizont-o 地平線, 水平線
高地をばいくら掘つても**地平線**
以上に在れば**ホリゾント**(掘り損と)なる
- Horizontal-a 水平の, 横の
水平の社員が立つて暗闘し, 負けりや
生^ヲ命^ヲの**ホリゾッター**ら(放^リり損だら)う
- Horlog-o 時計
キリシタンバテレン法と驚いて
時計を堀に**ホルろーチ**^ョ(放る老女)哉
- Horoskop-o 占星 (ほしうらない)
占星の学に熟して真言宗が
ホロスコーボ(滅す弘法)の千代の遺教を
- Hortensi-o 〔植〕 紫陽花
紫陽花の根別けをすると土を**ホル**(掘る)
テッシーオ(天水を)その後には施す
- Hortulan-o 〔鳥〕 蒿雀^ヲの類
棚池を**ホルトラーノ**(掘ると裏の)松ヶ枝に
小^ヲ魚^ヲ捕らんとて蒿雀の類集^ルふ
- Hospital-o 病院
病院も患者なければ医者連の
口は忽ち**ホス**(干す)**ピターロ**(ひとと)
- Hosti-o 〔宗〕 聖餐の麵麴, 聖餅
聖餐の**麵麴**を喰ひつゝ各^ハ自^ハが
ホスティーオ(欲す地位を)ば得んと尋ぬる

Hotel-o 旅館, ホテル

旅館の主丸々として肥えてゐる
筈よ屋号もホテ-ろ(布袋楼)なら

Huf-o 蹄^{ヒツ}

カツカツと馬の蹄の音すなり
フ-フ^フ(富豊)な人の乗れるにやある

Human-a 人情ある, 慈悲の, 人道の

人情ある人は平素に人道を
フマーナ(踏まな)成らぬと心残しむ

Humer-o 〔解〕上膊骨

玄関の階段に足を辻べらせて
上膊骨折りぬフメ-ロ(不明瞭)の疵

Humil-a 謙遜なる

謙遜なる昔の人は毛筆で
美しく書いたフミーらい(文来)往す

Humor-o 機嫌, 気色

織田公の機嫌を取りて蘭丸が
力にも似ぬフモ-ロ^{フモ}う(封^フ貰^モふ)たり

Hund-o 犬

杓で水かけられ犬はフド(忿怒)して
其人見れば直^スぐに吠え付く

Hura! 万歳! (喊声, 歓呼)

万歳の酒に喊声, 歓呼して
フ-ラ(ふうら)ふうらと道行く若人

Husar-o 驃騎兵, 輕騎兵

驃騎兵遠き山坂打ちわたり
夜露しのぎて樹下にフサーロ(伏さろう)

Huz-o 〔魚〕蝶鮫^{テゾ}, 鰐魚

海の魚^サか陸^リの蝶々か飛び跳ねる
蝶鮫のフ-ゾ(風ぞ)面白きかな

H

Haos-o 渾沌

一審は渾沌として盲判決
故に被告はカオ-ソ(控訴)するなり

Hemi-o 化学

学究に心かたむケミーオ(傾け身を)粉に
なして化学を学ぶ医学生

Himer-o 噴火獣(獅頭, 羊身, 竜尾の怪物)

噴火獣獅頭羊身竜尾ある
奴を怪獣と誰もキメ-ロ(決めろ)

Holer-o 〔医〕コレラ

コレ-ロ(苦霊老)病める病人危篤なり
コレラ(是等)を称して伝染病と曰ふ

Hor-o 〔音〕合唱, 唱歌隊(会堂内などに於ける)

小学の生徒が合唱する唱歌
コーロコーロと言^フ霊^マ転^マぶ

I

-I 〔語尾〕動詞不安定の語尾

不定法な事をしましたイ(以)後屹度
慎しみますとイ(言)ひ訳をする

Ia 〔相〕或る, 或る種類の

或る人の医者病気を診察し
イー(胃)アレ(荒)てると健胃剤盛る

Ial 〔相〕或る理由で, なぜか

私等とは或る理由で黙したが
冤罪なりと今イーア^ア(言ひ歩)くなり

Iam 〔相〕或る時、いつか、嘗て

或る時は亡父懷_レひて涙しぬ

いつかイーア_ム(慰安)の時があらうか

Ibis-o 〔鳥〕紅鶴_ト

紅鶴の声今日は目出度く聞きにけり

父母の年忌にイビーン(衣美僧)来る

-Id- 〔接尾〕子孫又は幼者を示す

子や孫や幼者の危険案じつゝ

古イ_ド(井戸)の上に板石をおく

Ide-o 観念、想念、考へ

観念の臍を固めて門_ヲをイデー(出で……)

オ(……応)戦せんと抜刀隊進む

Ideal-o 理想

理想にも種々雑多の主義がある

敬神愛国古_クイデアーろ(いであらう)

Idealism-o 理想主義、唯心論

唯心論、理想主義をば固執して

「イデアリ_スモ」が道を説くなり

Ident-a 同一物なる、全く同じき

イデ_ンたん(遺伝田)圃_ニに生える初茸喰つて

見れば、雨傘茸と同一物なる

Ideografi-o 表意記号法

イデオ_ラフィーオ(意伝小暗非意を)表意記号

法の称名と、エスペラント語定め居るなり

Idili-o 牧歌、田園詩

羊豚のイデ_リーオ(出入りを)守りつゝ

牧歌を謳ふ牧童の群れ

Idiom-o 地方言、時代語

地方言、時代語を以つて話する

古老のイデオ_オモ(意地面)白きかな

Idiot-a 白痴の、馬鹿の、魯鈍の

イデオ_オタ(出会ふた)暗の街路で鉢合せ

眼から火を出す白痴の骨頂

Idiotism-o 慣用語

古への慣用語以ちてイデオ_テスモの

(意地を呈す物)持ち豊かな楽隠居かな

Idol-o (一) 偶像、(二) 崇拜の目的物

偶像を崇拜してる迷信者は

イドーろ(出で居らう)と教会牧師曰ふ

Ie 〔相〕或所に、何処かで

或所に立派なイーエ(家)が空_ニいてると

聞いて直ちに家主を探す

或る方法で、或る有様で、

Iel 〔相〕どうかして、兎に角

神界の御経綸ともイーエ_ム(言へる)だらう

或る方法で行つた仕事も

Ies 〔相〕或人の、誰かの

或人の話に依ればイーエ_ス(基督)は

史上の人物ならじとか曰ふ

-Ig- 〔接尾〕…となす、…たらしむ

絹糸や木綿糸を機に織り

身体を護るイ_グ(衣具)となすなり

Ignor-i 無視す、知らぬ振りす

国体を無視する奴は知らぬ振りする

イ_グノーリ(異具脳裡)を持つて居るらし

-Iht- 〔接尾〕…となる

若年の恋をば断念せしめんと

意見をすればイ_ヒ(意地)となるなり

Ihtiokol-o 魚膠

イ_ヒティオコーろ(幾_コ個_ノ魚_ヲを殺)して取つたか

知らねども、マア沢山な魚膠なるかな

- II- 〔接尾〕器具, 使用物, 用材を示す
別家して新たに世帯する時は
使用物, 器具沢山にイ_ス(要る)
- Ileks-o 〔植〕西洋柊_{トヲ}
前庭に園丁の植へし西洋柊に
肥料を多くイれ_{ッソ}(入れ糞)でもよいから
- Ili 〔代〕彼等, 彼の人達, 其等 (第三人称複数)
彼等には彼の人達の主張あり
外からイーリ(入)込む訳には行くまい
- Illumin-i イルミネーションをなす
功を立て故郷を指して帰イ_ルミーニ(いる身に)
祝意を表してイルミネーションをなす
- Ilustr-i 挿画す, 図解す
黄口を開いて啼いてイ_ルストリ(居る巣鳥)
松の梢に画伯挿画す
- Iluzi-o 幻影, 幻覚, 迷ひ
幻影や幻覚を見て色々と
驚いてイ_ルズーオ(ゐる爺を)覚_スす神職
- Imag-i 想像す
イマーギ(今来)久_ク戸_ド古_ル開_キ姫神平野社の
四_シ神_シを色々想像する神職
- Imit-i 真似る, 模擬す, 倣ふ
神様を真似る曲_ク霊_{リョウ}の行動を
イミーティ(忌みて)ぞ一大修祓をする
- Imperativ-o 命令法
国王が命令法を制定して, イ_ムペラティーヴ_オ
(印平良地方)に発布する外邦
- Imperfekt-o 〔文〕半過去
文法の半過去是をエス語にて
「イ_ムペ_ルフ_ェクト」とエス語の用ゆる

- Imperi-o 帝国
帝国の内情深く敵国に
イ_ムペリーオ(隠蔽裡奥)するぞ忠臣
- Imperial-o 馬車電車等の二階
馬車電車等の二階に何物か, イ_ムペリ
(隠蔽裡)アーロ(あらう)かとスパイの凄眼
- Imperialism-o 帝国主義
帝国主義をイペリアリ_ムモ(隠閉裡あり角力)の
如しと共產主義者言ふなり
- Imperialist-o 帝国主義者
帝国主義と帝国主義者の区別をば, 「モ」
と「ト」(毛と統)の一家に知らるゝエス語
- Impertinent-a 無作法な, 横柄な
横柄な, 無作法な奴のする事は, イ_ムペルティ
ネ_タ(隠閉流地位念多)大なりけり
- Implik-i 絡_マます, 捲込む, 纏綿さす, 錯綜せしむ
色々と絡_マしにけり男_オと女_メとの
二人の中にイ_ムプリーキ(淫風力)が
- Impon-i 感心せしむ, 尊敬の念を起さしむ
大胆な天一坊のイ_ムポーニ(隠謀に)
伊賀之介をば感心せしむ
- Import-i 輸入す
不平党洋行土産に輸入する
イ_ムポルティ(隠望流智異)は治安に害あり
- Impost-o 租税
租税をば遅納せし分爲替にて
役イ_ム(員)ポ_スト(郵便函)に投じ上納す
- Impres-i 感じさす, 印象を与ふ
堪へ難き印象を与ふ, 感じさす
夜見の浜辺のイ_ムプレース_イ(淫風靈水)

Impresari-o 勸進元, 興行主

観進元, 興行主の懷中は, イムプレサリーオ
(隠富例左利を)現はし居るなり

Improviz-i 即席に演ず, 即席に作る

講談師イムプロヴィーズイ(陰府楼美瑞)即席に
演ずる技能は物語に得る

Impuls-o (一) 刺戟, 衝動, (二) [機] 撞撃

衝動や刺戟を強く与へけり
役イムプス(役員振る)ソ(其)れの態度に

Imun-a 免疫の

免疫のお前ぢやないか痲瘡ぐらい
イムーナ(忌むな)人が笑ふぢやないか

-In- [接尾] 女性を示す

イン(陰)と言ふエス語女性を示すなり
女陰男陽日本の教へ

Inaūgur-i 開始式を行ふ, 開く

荒地開く屋敷の開始式を行ふ
イナウグーリ(稻生周り)に見つつ楽しむ

Inaūguraci-o 開始式

開始式イナウグラツィーオ(異な迂愚等地位を)
も選ばずに, 先づ兎も角も挙行するなり

Incens-o 香り, 薫香

インツェンソ(隠地円相)山寺の方丈の仏壇に
参拝すれば薫香, 香りぬ

Incit-i 激さす, 興奮せしむ, 励ます, 煽動す

商業をしつかりやれと奮激さする
約手の裏書実イン(印)ツィーティ(ついて)

-Ind- [接尾] ……の価値ある

何程の価値ある物か分らない
インド(印度)から来た金銀仏像

Indeks-o 索引

索引がなければ本の読めぬ奴
家にインデッソ(去んで尿)など垂れよ

Indiferent-a (一) 利害なき (二) 冷淡なる

重軽なき, 無頓着なる
軽重なき且つ利害なき汽車の客
皆満イン(員)ディフェレント(で這入れんだ)

Indig-o 藍

早くインディーゴ(去んで御)覧よ母ちやんが
藍に染めたる晴衣を縫ふて

Indign-i 憤る, 忿る

卑怯者頭なぐられスゴスゴと
インディグニ(帰んでぐに)ぐに妻に憤る

Indigen-o 土着民, 土人

故郷は北海道の土着民です, インディチーノ
(去んで税の)かゝるのは嫌です

Indik-i 指示す, 表示す

インディーキ(隠磁器)表示するなる天候は
小さき針にて指示するなり

Indikativ-o [文] 直説法

インディカティーヴォ(隠字家庭法)をばいと適切に
直説法にて著はす円本

Individu-o (一) 一個人,

(二) [博] 一個体(種族に対して)
一個人なれば良けれど人の上に, 立てば
咎むるインディヴィドゥーオ(淫事非道を)

Indukt-i 帰納す, 誘導す

インドクティ(印図句程)誘導する講演の
帰納する時聴衆の欠伸

Indulg-i 容赦す, 大目に見る

親里にインドッス(帰んでおる)ギ(義)理の
継母をば, 孝行のため容赦する戸主

- Industri-o 産業, 工業 (狭義に)
瑞月が**インド**^{カスト}**リーオ**(引導す通りを)
守りなば, **産業, 工業**共に栄えむ
- Inert-a 無活動の, 生気なき
生気なき, 無活動の怠惰者
秋もぐらぐら**イネ**^ル**タ**(寝る田)の畔
- Infan-o 幼児, 子供
陽系の**幼児**を称して坊と言ひ
イン^{ファン}**ノー**(陰派の)子供を餓鬼と言ふなり
- Infanteri-o 〔軍〕歩兵
枢密**イン**(院)**ファン**^テ**リーオ**(不安定裡を)守ら
んと, **歩兵**大隊警備するなり
- Infekt-i 〔医〕病毒を伝染す
コレラ菌**イン**^{フェク}**ティ**(隠蔽苦涕)する時は
直ぐ**病毒**を伝染するなり
- Infer-o 地獄
天国へ昇り行く道広けれど
地獄旅行は**イン**^{フェ}**ー****ロ**(陰閉路)なり
- Infinitiv-o 〔文〕不定法
イン^{フィ}**ニ**^{ティ}**ー****ヴ**^オ(淫非尼痴呆)なれば**不定法**の
文章かきて得意然たり
- Inflam-o 〔医〕炎症, 焔衝
炎症, 焔衝でとうとう入**イン**(院)**ら**^ー**モ**(倉も)
家屋も, 皆医者**の**肥えとなる
- Influ-i 影響す, 左右す, 感化す
枢密**イン**(院)**ら**^ー**イ**(古い)頭が集合して
国に**影響**する力無し
- Inform-i 通知す, 報知す
吾寺**イン**(院)**フ**^{オル}**ミ**(棄ある身)なれば還俗し
知己へ文書で**通知**するなり

- Infuz-i 〔薬〕煎出す, 振出す
勃起病癒さんとして女房が
イン^{フーズ}**ィ**(淫封じ)**薬煎じ出す**なり
- Ing- 〔接尾〕挿入具を示す
イン^グ(印具)とは**挿入具**なり蠟燭^{ガデ}
挿入器具は燭台^{カデ}
- Ingven-o 〔解〕鼠蹊部^{モキ}
イン^グ**ヴェ**^ー**ノ**(淫具部の)真近に並ぶ**コンパス**の
根元を**モモネ**(桃根)と言ふぞおかしき
- Ingenier-o 技師
年が寄り工業**技師**を辞職して
イン^{ヂェ}**ニ**^エ**ー****ロ**(隠世に甚^シ)う苦心するかな
- Iniciat-i 〔一〕着手す, 創始す 〔二〕卒先す, 発頭人となる
弁か**イニ**^ツ**ィ****アー****ティ**(解に費^ツして)此方へも
時間取られて**着手**す暇なし
- Ink-o インキ
過つて**イン**^コ(印壺)を倒し青畳
インキ溢れて黒くなりけり
- Inklin-a 傾向ある, 其癖ある
イン^{クリ}**ー****ナ**(隠苦離難)人は何れも
自暴自棄の, **傾向ある**は寧ろ当然
- Inkluziv-a 包含せる, 算入せる
算入せる**イン**^ル**ズ**^ィ**ー****ヴ**^ァ(淫狂ふ爺婆)の
記録には, **薬**伍老爺も**包含**せるなり
- Inkognit-o 匿名, 微行
匿名し**微行**しながら亡命者等が
イン^コ**グ**^ニ**ー****ト**(隠国にと)逃げて行くなり
- Inkvizici-o 〔史〕宗教裁判所, 異端糾問所〔中世の〕
イン^ク**ヴィ**^ズ**ィ****ツ**^ィ**ー****オ**(印首実地を)現はし
答弁する被告, **宗教裁判所**異端糾問止めず

Inkvizitor-o 〔史〕糾問法官(宗教裁判所の)
いかめしく**糾問法官**僧裁く
意外に**インクヴィズィトール**(院空微事徒勞)

Inokul-i 〔医〕接種す, 種痘す
接種する痘瘡の種を置忘れ
イノクーリ(医の庫裏)まで探し求むる

Insekt-o 〔動〕昆虫
冬来れば諸の**昆虫**おしなべて
インセクト(隠生苦土)に入りて棲むなり

Insid-i 陥る, ぺてんにかける
宝塚柘植^{ツツキ}精一が**インスィーディ**(印紙で)
同僚四五人**陥る**かな

Insign-o 徽章
水道の役員持てる**徽章**見れば
インスィグノ(引水具の)模様記せる

Insist-i 主張す, 固執す
市中をば除けて**インスィスティ**(引水為^ス地位)を
選ぶ, 水道社長が強く**主張す**

Inspekt-i 視察す, 検閲す, 監督す
検閲する**インスペクティ**(員数兵駆逐)を**監督する**
士官を更に**視察する**支那

Inspektor-o 検査官, 検閲官, 監督
数十年**検査官**して賄路とり, 辞職してから
インスペクトール(隠棲富栄久頭老)

Inspir-i 感悟せしむ, 思ひ付かしむ, 鼓吹す
閑居して小人**インスピーリ**(隠棲非理)なすを
感悟せしむ大神の道

Instal-i 叙任する, 据付く
叙任する**インスターリ**(員数足り)ぬと賞勲局が
穴埋めに**据付く**冗員

Instanc-o 訴訟審級
予審調書**インスタンツ**(員数沢^シ山^リ)無き故に
訴訟審級意外に速し

Instig-i 慫慂す, 促進す
羅馬使節派遣反対**慫慂す**
捻ぢ鉢巻の寺**インスティギー**(院主提議)

Instinkt-o 本能
本能を發揮せんとて壮老者
インスティンクト(淫す痴陰苦と)後家の狂乱

Instituci-o 設立物(院, 社会, 学校等)
社会の**設立物**とて身を忘れ, **インスティトゥーオ**
(院主地位土地を)僧寄附す

(一)博士会, 学士会
Institut-o (二)学院, 学会, 学校
学校や学院, 博士, 学士会
高等学校はインスティトゥート(員数智異同等)

Instru-i 教ふ
連判状に先づ捺**インストルーイ**(印す党類)に
大石仇討計画を**教ふ**

Instrukci-o 訓令, 指令, 教書, 教へ
長官が部下に向つて**訓令する, インストルク**
ティーオ(隠棲党類駆逐を)ば厳正せよと

Instrument-o (一)道具, 器具, (二)楽器
道具をば「インストルメント」とエス語言ふ
陰主とる「メント」は婦人が使ふ

Insul-o 島
俗塵を避けて一つの離れ**島に**
インスーロ(隠棲老翁)胸垢を洗ふ

Insult-i 罵る, 悪口す, 叱る, どなる
あの老爺隠居なれども気が若く
インスルティ(淫するツと)隣人罵る

-Int- 〔語尾〕発動分詞過去の語尾
 イント(淫頭)とは**発動分詞過去の語尾**
 尻尾に接する言語なりけり

Intelekt-o 知能, 知性, 判断力
 知能, 知性, 判断力を持ち乍ら
 インテレット(淫惚零苦図)の性悪る男よ

Intelligent-a 才智ある, 惻発なる
 才智ある人は表にあらはれず
 インテリゲンタ(陰照り頭当)臍^へ氣^にに見ゆ

Intenc-i 欲す, 企つ, 志す, 図る
 教会**インテツィ**(貝天地)万有一切を
 救はんと**欲す**神の大^き道^に

Intendant-o 監督人, 差配人, 家令
 インテダント(院展団と)帝展団の**差配人**
 監督人とか家令(かれ)これ争ふ

Intens-a 強烈な
 強烈な反対せずに一刻も, 早く
 此の家を**インテッサ**ぐ(去んで探^る)女よ

Inter 〔前〕…の間に, …の中間に
 何^い時^どの間にあんな姿になつたのか
 遊廊通ひで腰が**インテル**(去^いんでる)

Interes-i 興味を感じしむ, 面白がらす
 金閣寺**インテレースィ**(院庭靈水)清くして
 深く**興味を感じしむ**哉

Interjckci-o 〔文〕間投詞
 文法の間投詞をばエス語にて
 「**インテルイェクツィーオ**」と言ふなり

Intermit-i 間断す, 間歇す
 大空に大**インテルミーティ**(陰照る満ち)欠けが
 あつて光明常に**間断す**

Intern-o 内部
 大雲寺**内部**に入りてながむれば
インテルノ(院庭流の)泉水清し

Interpret-i 通弁す, 解釈す
 異国語の**通弁する**をエス語にて
 「**インテルプレーティ**」こそとは曰ふなり

Interpunkci-o 〔文〕句読法
 句読法エスペラントの文法で
 「**インテルプンクツィーオ**」と曰ふ

Intervju-o 応訪, 面談(記者の)
 面談の記者に**応訪**して剣客が, **インテルヴューオ**
 (智識的武勇)をまくし立て居り

Intest-o 〔解〕腸
 臭い屁を放つ男の腸こそは
 力も何も**インテスト**(去^いんでると)思ふ

Intim-a (一)親密なる, (二)内心の, 心底の
インティーマ(院庭ま)で侍僧は案内して呉れた
 平素親密なる友の好^い誼^にで

Intrig-o 密計, 陰謀, 計略
 陰謀や密計などの有る人は
イントリーゴ(陰図裏異語)の相談のみする

Inund-i 氾濫す
 大雨で河が**氾濫**するだらう
 僕は是からすぐ**イヌンディ**(去ぬんデイ)

Invad-i 攻め入る, 侵略する
 満洲を**侵略**すなり支那軍に, **インヴァーディ**
 (淫婆^ふ爺)を攻め入る熱河省

(病身, 不具, 老衰等にて)〔軍〕
 Invalid-o 廢人(役に立たぬ者を言ふ) 廢兵, 病兵
インヴァリッド(威張り人)も病身となり
 不具となり, 老衰すれば廢人となる

Invers-a 逆の, アベコベの
 アベコベの, 逆の理窟斗り言ふ
 家には居らぬ**インヴェルサ**(家出るうさ)私は

Invit-i 招待す
 風流翁古稀の祝ひに雅友をば
インヴェーティ(隠美地居)に招待する哉

Io 〔相〕或る事, 或る物
 或る物が或る事無い事触れちらし
 悪く**イーオ**(言はふ)と大本狙ふ

Iom 〔相〕何程か, 幾らか, 多少, 少しく
 幾らかの騒乱あるも為政者の
イーオム(威恩)あれば又何程かあらん

Ir-i 行く
 月も日も数多の星も悉く
イーリ(入り)行く如く見ゆる大空

Irid-o 菖蒲(アヤメ), 鳶尾草
 菖蒲さく裏の**イリード**(入り門)の棚池に
 朝を匂へる**鳶尾草**の花

Iris-o 〔解〕虹彩, 〔写〕絞り
 虹彩の涼しく清き人の眼は
 人の眼ヲを**イリーソ**(射りそう)に見ゆ

Ironi-o 諷刺, 皮肉, いやみ, 〔修〕反語法
 顔**イロニーオ**(色に応)じて皮肉や諷刺をば
 使ひ導く仏の方便

-Is 〔語尾〕動詞過去の語尾
イス(いす)細し神の教は過去未来
 現在までも説き示すなり

-Ism- 〔接尾〕主義, 教(義)
 愛善の**主義**を教ゆる教壇に
イスマ(出雲)の神を祭る会員

-Ist- 〔接尾〕永続的にたづさ (屋, 師, 職, 学者, 論)
 はる人を示す (者, 主義者, 家, 使用者)
イスト(椅子人)とは永続的に携はる
 人に対する称呼なりけり

Istm-o 〔地〕地峡
 地峡をば**イストモ**(何時とも)無く踏み越へて
 巴奈馬の森に進む梅ヶ香姫 (霊界物語参照)

-It- 〔語尾〕受動分詞過去の語尾
 受動分詞(糞尿)過去の語尾をば「**イト**」と曰ふ
 尻尾は俗語に「おイド」とも称ふ

Iu 〔相〕或人, 誰か, 某
 誰も**イーウ**(曰ふ)大本教は排他主義と
 或人達に煽動しられて

Izol-i 孤立せしむ, 隔離す,
 〔化〕遊離せしむ(電)絶縁す
イゾーリ(蘭草履)を売出す店を嫉視して
 孤立せしむる靴商組合

J

-J 〔語尾〕複数を示す
イの声は二つ**イ**(以)上の複数を
 示す語尾ぞとエス語**イ**(言)ふなり

Ja 〔副〕実に, 全く(語を強むるために入れる語)
 「**ヤ**」声は全く**だ実**にさうだと語勢をば
 強むるために入れる言^ヲ靈^ヲ

Jaguar-o 〔動〕アメリカ虎
 朝鮮の虎に比べて**アメリカ虎**
 その勢ひは余程**ヤゲアーロ**(怯弱であらう)

Jak-o 背広(上衣)
 燕尾服着けたる中に**背広**の紳士
 交れば**ヤーコ**(奴)の様に見ゆめり

Jam 〔副〕既に、もはや
 町大事既に既にヤム(止む)もはや
 今後は何とも詮ず術も無し

Januar-o 一月、正月
 一月は松の内とて松飾り
 餅をば喰はぬヤヌアーロ(家*の在らう)かや

Jar-o 年、一年
 津の国へ年期奉公にヤーロかと
 一年間の農事練習

Jasmeno 〔植〕素馨ジャズメン
 素馨をば沢山採取した丁稚に、主人よろこび
 明日はヤスメノ(休めのう)と曰ふ

Je 〔前〕 意義不定 (他に適当なる前置詞を求む)
 の前置詞 (めどざる時に用ふ)
 意義不定他に適当な前置詞を
 求め得ざる時に「イエ」(いえ)と曰ふ

Jen 〔副〕それ、そこに、ここに(注意を喚ぶに用ふ)
 それ、そこに、ここにもあるが見イエ(えん)かと
 注意を喚ぶに「イエ」を用ゆる

Jes 〔間投〕然り、左様(承諾の語)
 然り、左様承諾したとクリスチャンを
 「イエス」は導き給ふと信ずる

Jesu-o (Jezuo) 耶蘇
 耶蘇教の信者は何れも聖書見て、世の
 終末を「イエス・オ」(はい)と承認なせり

Jezuit-o 〔宗〕ジェスイット派の徒
 ジェスイット派の宗徒をばエス語には
 「イエズイート」なる称呼与ふる

Jod-o 〔化〕沃度
 「ヨード」をば丁幾*となして医師連が
 医療に使へば沃度(余程)利くだらう

Ju 〔副〕desと共にpliの前に用ひられ、比較を示す
 修善寺霊泉含薬検べんと
 ユ(湯)ヶ島温泉の比較を示す

Jubile-o 祭典(定期の)、記念祝典
 大神の御前に清くユビれーオ(優美礼を)
 つくし定期の祭典執行す

Jud-o ユダヤ人
 赤化主義ユード(有土)の上に拮めたる
 陰謀首魁のユダヤ人かも

Judaism-o 猶太教
 猶太教はユダイモ(雄大角力)を取つて居り
 キリスト教の諸派に対して

Jug-o (一) 軛ユグ (主として牛にいふ)、(二) 束縛、奴隸
 荷馬車曳く馬も軛の力にて
 速き道をばユーゴ(輪護)するなり

Jugland-o 〔植〕胡桃ユグランド(果)
 かほり良く酸味の多きユッラッド(柚*大ヅシ)
 比べて見れば胡桃小さき

Jug-i 裁判す、判決す
 宗一とユーヂ(言ふ兒)童をば殺したる
 上等憲兵を判士が裁判す

Juk-i 痒ユクし、痒さを感じ痛し
 痛し痒し髭虎爺との経緯ユクを
 打ち切るユーキ(勇氣)暫時押へつ

Juli-o 七月
 姫ユリーオ(百合を)掘つて七月盆祭り
 蓮花と見做し精霊に供す

Jun-a 若き
 年寄りと余りにユーナ(言ふな)精神は
 苦き二八の花の真盛り

Jung-i 駕す(牛馬を車に附く)
牧童が牛馬の曳けるガタ車に
駕するも一つのユギ(遊戯)なりけり

Juni-o 六月
六月の末から杖立温泉の
ユニーオ(湯に王)仁三郎が湯治旅行す

Juniper-o 〔植〕杜松
杜松をばエスペラントは改めて
「ユニペーロ」と称呼して居る

Junk-o 〔植〕燈心草, 藺*
燈心草見た様な細い青い児が
成人したのはユンコ(有運幸)なり

Jup-o 女袴, 裳
女袴をば着けて女学生快活に
脛を露はしユーボ(勇歩)するかな

Jur-o 法律学
落雷し地震激しくユーロ(揺らう)とも
法律学の力およばず

Jurist-o 法律家
法律家のエス名称はユリスト(有利すと)
称ふるも又宜なりける

Just-a 正しき, 公平なる
公平なる正しき道を大英ユ(雄)
スタ(すた)すた進む勇ましさかな

Juvel-o 宝玉, 装身具
夜る光る珍物の宝玉はからずも
ユヴェーロ(タベ廊)下で拾ひてし哉

J

Jaket-o 上衣(袖付き)(女用), 子供服
「ジャケット」は上衣, 子供の服といふ
袖付き女子用に最も適せり

Jaluz-a 嫉妬深き
嫉妬深き女が窓の外から
ジャーザ(砂粒ざあ)ざあと掴み投げ込む

Jargon-o 乱語, 変則語, 訛
乱語をば連発なして世を乱す
奴をジャルゴーノ(邪流語の)曲者といふ

Jaüd-o 木曜日
木曜日期して息子に財産を
ジャッド(譲度)なさんと禿爺^{ヤン}が曰ふ

Jet-i 投ぐ, 抛る
藤吉郎天下取るとの卦を得て
ジェーティク(筮竹)投ぐる恵慶和尚

Jongl-i 手品を使ふ
気まぐれに寄席を覗けば支那人が
ジョングリ(序繰り)序繰り手品を使ふ

Jur-i 誓ふ
我娘ジャーリ(十里)以外の地点なら
嫁にあげよと両親が誓ふ

Jurnal-o 新聞, 雑誌
此頃の新聞, 雑誌は金次第で
ジャーナー(柔留難啞聾)放れの業^ヲする

Jus 〔副〕いま, たつた今(最近の過去)
たつた今ジュス(縋子)の帯をば買ったのに
いま流^ハ行^キらぬと姉さんが言ふ

K

Kabal-o ヘブライ伝説, 旧約全書伝説的説明
旧約書, ヘブライ伝説説明の
意義をエス語に「カバール」と曰ふ

Kaban-o 小屋, 茅屋
カバーノ(樺の)樹や枝にて作りし小屋がけを
人さげしみて茅屋と言ふ

Kabl-o 大綱, 鉄索, 〔電〕電纜, 海底電線
大綱も鉄索も恐ぢず激怒して
カーッろ(かぶり)つかうとする檻の大虎

Kabriolet-o 一頭立二輪馬車
一頭立二輪馬車夫に夏去れば, 主人は
帽子をカリオレート(冠り居れと)命ず

Kac̄-o 粥
凶作で下女も下男もカーチ(家長)も
朝夕ズーズー粥するなり

Kadavr-o 屍体
屍体をば「カダーッロ」とエス語言ふ
死体(次第)々々に冷えて腐敗す

Kadenc-o 音節, 拍子
音節も拍子もうまく歌ふ人を
カデッツ(歌伝通応)の達人と曰ふ

Kadet-o 士官候補生, 生徒 (兵学校, 幼
兵学校, 幼年学校の士官候補生徒は
いつもカデート(家庭と)聯絡が無い

Kadr-o 杵, 額縁
額縁や杵をばそつと取り外づし
物カーッロ(貨泥)杵する奴もあり

Kaduk-a (一)〔植〕散る, 凋落する, (二)老衰せる
カドッーカ(家道か)ら凋落するとわけもなく
二八の娘の花も散るなり

Kaf-o コーヒー
カーフ(家法)を乱してコーヒー呑む息子
怒つて迫出す茶道宗匠

Kag-o 籠, 檻
カーヂ(個条)書破つて罪を負はせられ
檻で困しむ籠の鳥かな

Kahel-o 板瓦(床に舗き又壁などに嵌む)
家の装置カヘーろ(変へろ)として板瓦
壁に嵌めたり床に舗いたり

Kaj 〔接〕と, 及び, そして
カイそして(会葬して)兄弟及び親族と
墓標の前で泣く涙かな

Kaj-o (一)〔海〕埠頭, (二)プラットホーム(鉄道)
亜米利加へカーヨ(通ふ)便船待ち兼ねて
埠頭に集ふ人の山かな

Kajer-o 帳面, 筆記帳
白鼠あけたる穴を塞ぐため
帳面づらをカィーロ(変へろう)とする

Kajut-o (一)船室, 車室, 小室, (二)小屋
船酔で小間物店を開業し
カユート(粥と)仁丹船室で飲む

Kaka-o ココア(カカオ種子の粉), 〔植〕カカオ果
ココアとはカカオの種子の粉なれば
エス語に矢張り「カカーオ」と曰ふ

Kal-o 胼胝, 疣眼
耳の穴胼胝になる迄知らしたら
神に対して不足は無カーろ(からう)

Kaldron-o 釜, 大鍋, 〔機〕汽缶
よく光カッローノ(かる道路の)側においた釜
ピカピカピカと月を仰いで

Kalejdoskop-o 百色眼鏡

カレ_イ(華麗)ド_ス(太刀)コー(買)ポリス
有色眼鏡、懸けて威張りて小言のみ言ふ

Kalendar-o 曆

古曆庄屋の家にありと聞く
一度見たいがカレ_ンダー_ロ(借れんだろー)か

Kalendul-o 金盞草_{キンランソウ}

羊腸のカレ_ドー_ロ(可恋道路)を塞ぎつゝ
匂ふも床し金盞草の花

Kaleš-o 四輪馬車

四輪馬車操つり活動する馬車夫
冬カレ_ーシ_ョ(夏冷暑)の苦をも厭はで

Kalfatr-i 〔海〕船_カヲ_ヲを入る (布片及び瀝青にて舟
板の隙間を塞ぐこと)
布片にて船板の隙に船_カヲ_ヲを
入るを「カ_ルフ_ィー_リ」とぞ曰ふ

Kali-o 〔化〕加里

カ_リー_オ(を)加_リとも思はぬ奴故に
モウ是からは貸してやらない

Kalibr-o 口径

作業場に工夫がカ_リー_ッロ(仮居風呂)たてゝ
口径せまきにつまりて居るなり

Kalif-o ハリハ(回教教主)

回教の信者ばカ_リー_フ(斗りを)神の子と
愛でいつくしむ回教々主よ

Kalik-o (一) 台附杯, (二) 〔植〕蓐

偶々の珍客なれば隣家にて
台附杯をカ_リー_コ(借り来)し哉

Kalikot-o キャラコ, 更紗

キ_ャラ_コにて縫ふたる被布は軽ければ
隣の伯父にカ_リコ_{ート}(借り来_コうと)する

Kalk-o 石灰

石灰も風に曝され風化すれば
ふわふわとしてカ_コ(軽粉)となる

Kalkan-o 踵_{カト}

脚底の踵の隙いた配達夫
歩みもカ_カー_ノ(軽る蚊)の様に飛ぶ

Kalkul-i 数ふ, 計算す

値もカ_クー_リ(かるく利)益なけれど数ふれば
計算するに損失は無し

Kalomel-o 〔藥〕甘汞

重き病いカ_ルメー_ロ(軽める)と思つたら
甘汞と言ふ藥を飲むべし

Kalson-o ツボン下

ツボン下はいて山坂登り行く
姿を見ればカ_ソー_ノ(軽るそうの)旅

Kalumni-i 誹る, 誣告す

長官の態度が余りカ_ルニ_ーイ(軽る無二)と
午飯食堂で下僚が誹る

Kalv-a 禿げた

金をカ_ヅヅ_ァ(借る場)合いでないが此の禿げた
天窗に免じモ一度貸して呉れ

Kamarad-o 仲間, 同僚

仲間をば多く集めてなカ_マラ_{ード}(仲間等と)
囲碁や将棋や茶の湯楽しむ

Kambi-o 〔商〕為替手形, 為替券

カ_ムビー_オ(官費を)以て修学する学生
為替手形の必要も無し

Kame-o 浮彫せる玉石

浮彫せる玉石見れば名門の
カ_メー_オ(家名を)裏にしるし有りけり

Kamel-o 〔動〕駱駝

お**カメーろ**(おかめ老)婆爺と手を曳き楽しげに
行くを**駱駝**の夫婦とぞ曰ふ

Kameli-o 〔植〕山茶^ツ属, 椿

カメリーオ(カメレオン)山茶属の枝にと
まりて, 椿^ツ色^ツとなる保護色の虫

Kamen-o 火屋, 炉, 竈

炉や**火屋**の火が燃え盛り狼狽へて
カメーノ(甕^ツの)水を注ぎ消したり

Kamer-o 暗室, 暗箱

暗室で繕ふ写真の**カメラ**を
エスペラントは「**カメーロ**」と曰ふ

Kamfor-o 樟腦

樟腦の楠の林に分け行**カム**(かむ)
フォーロ(芳露)に袖の濡れる嬉しさ

Kamizol-o 〔一〕一種の短き女衣, 〔二〕子供服

カミゾーロ(髪ぞーろ)背に垂して巫^ツ子^ツ達が
一種の短き女衣を着けてる

Kamlot-o 吳羅^ツ, ゴロフク

太夫さん**カムーロート**(禿^ツと)共に道中する
晴衣の袖口に**吳羅**をつけてる

Kamomil-o 〔植〕加密列^ツ

加密列ソース作るに必要なり
植物なれど**カモミーロ**(鴨味異鷺)と曰ふ

Kamp-o 〔一〕田, 畑, 野外〔二〕戦場, 陣地〔三〕界域, 範囲

田も畑も野外も乾き水気なく
枯るれば忽ち**カムポ**(旱圃)とぞなる

Kan-o 〔植〕荻蘆竹^ツ属, 籐, 蘆^ツ

カーノ(彼の)池の辺りに藪か**荻蘆竹**が
茂りありしと切りに行くかな

Kanab-o 〔植〕大麻

大麻の茎にて杖を造り見れば
堅く強くて**カナーボ**(鉄棒)の如し

Kanaben-o 〔鳥〕紅雀

カナベーノ(鉄塀の)内に聞こゆる**紅雀**の
声の花やかさ佇みて聴く

Kanajl-o 悪党, 野郎, 奴

悪党な**野郎**なる**カナ**^ツ**ろ**(かな色)々と
善からぬ吹聴ばかりする奴

Kanal-o 〔一〕運河, 溝渠, 〔二〕導管, 〔解〕管

気の長い何時**カナーろ**(か成らう)と掘りかけて
溝渠, **運河**も遂に開通

Kanap-o 長椅子

カナーボ(鉄棒)を骨に仕込んで拵へた
この**長椅子**は万年不朽ぞ

Kanari-o 〔鳥〕金糸雀^ツ

金糸雀を捕えんとして金峰山に
分け入り見れば**カナリーオ**(可なり居)る也

Kancelari-o 大法官庁

遺^ツちもなく**カツェりーオ**(奸痴榮利汚)
厳正に, 審判すべき**大法官庁**

Kancelier-o 〔一〕大法官, 〔二〕尙書, 宰相

漸くに**大法官**となるものは, **カツェりエーロ**
(官地榮利英老)の判検事なり

Kand-o 結晶砂糖, 氷砂糖

風味よく**結晶砂糖**は甘ければ
略称なして**カド**(甘糖)と曰ふなり

Kandel-o 蠟燭

蠟燭や**カデーロ**(かんでら)に火を点じ
暗夜を照らす観音の堂

Kandelabr-o 枝附燭台

神前の枝附燭台燈る夜の、敵カデラー^アロ
(寒手焙ぶろう)として居る神職

Kandidat-o 候補者, 志願者

候補者, 志願者などは運動が
カ^ンディダート(肝心だと)黄白を撒く

Kanibal-o 喰人者

飢饉にて喰人者まで現はれた
露国何カニバー^ロ(彼に破露)せしかな

Kankr-o 〔動〕(一)蟹, (二)蝦

蟹蝦の肉をば固く詰込んだ
カ^ンッロ(鐘喰ふ)なり行軍の空

Kanon-o 〔軍〕大砲, 加農砲

カノ^ーノ(彼の野)に敵の砲兵隠れけり
大砲打ち出す準備なるらん

Kanon-o 〔宗〕教典, 宗規, 寺法

教典や宗規, 寺法の真釈を
カノ^ーノ(可能の)覚悟で大砲を打つ

Kanonik-o 〔宗〕キャノン(僧会員)

三^ノ五^ノの教の道の本部には
カノニーコ(彼の尼港)なす人は勤し

Kant-i 歌ふ

カ^ンティ(感知)した事をば直ぐに筆を執り
歌に作りて勇ぎよく歌ふ

Kantarid-o 〔昆〕莞菁^ヅ

莞菁は発疱薬の第一位
凡ての薬にカ^ンタリード(冠たりと)いふ

Kantat-o 〔音〕歌曲(戯曲体の)

戯曲体の歌曲をきいてカ^ンタート(感多有と)
賞揚すなり楽天主義者が

Kanton-o 郡, 区

カ^ント^ーノ(関東の)郡区は比較的せまく
関西諸国と非常の差異あり

Kantor-o 唱歌者(主に寺院の)

宗教の寺院に仕ふる唱歌者の
讃美歌聞カ^ント^ーロ(かんと老)人が参る

Kanvas-o 帆木綿, 画布, ツック

帆木綿, 画布に書きし応挙の
カ^ンヴァ^ーソ(驛馬そ)こらを走るとぞいふ

Kap-o 頭, 首

カーボカーボと柄杓を頭に被りつゝ
湯歌を謳ふ岩井温泉

Kapabl-a できる, 能ふ, 能力ある

能ふ, できる人とし聞カパー^ラ(かばぶら)
ぶらと, 遊ぶ間にも教へ受けなん

Kapel-o 祠^{ミヤ}, 小礼拝堂

古祠夜暗に近づきよく見れば
あカペ^ーロ(あかペー^ーロ)りと狸舌出す

Kapital-o 〔商〕資本, 元金

大資本その大半を設置費に
流用するとは少しカビター^ロ(華美だろう)

(一)陸軍大尉

Kapitan-o 隊長, 艦長, 〔軍〕(一)海軍大佐

梅雨の空服のカビター^ノ(かびたの)を
土用干^シ, 海軍大佐の妻がして居る

Kapitel-o 〔建〕大斗, 柱頭

大斗や柱頭までも他に優り
造り上げた^ルカビテ^ーロ(華美邸楼)かな

Kapitulac-i 降伏す, 開城す

カピト^ラーツ^ィ(過非党拉致)せんと闘ひ降伏す
開城するの止むなき警憲

Kapon-o 去勢鶏

カポーノ(割烹の)板場よろこぶ去勢鶏
優れて肉も美味にありせば

Kapor-o 〔植〕風鳥草

天恩郷たカポーロ(高望楼)の庭の面に
風鳥草は花持ち匂へり

Kaporal-o 〔軍〕伍長

カポラーロ(火防邏路)大騒乱の最中に
伍長甘粕と大兇行する

Kapot-o 頭衣附外套

霜深く寒さ厳しき外出に
頭衣附外套カポート(かぶっと)被る

Kapr-o 〔動〕山羊^ヤ

山羊か将た八木か知らねど生宮が
人の腕をばカー^ヤロ(噛らう)とする

Kapreol-o 〔動〕一種の鹿

秋の日の山の尾の上に妻を呼ぶ
一種の鹿のカ^レレオーロ(鹿夫列居る)哉

Kapric-o 気まぐれ, むら気, 出来心

気まぐれに犬に肉をば見せびらし
カ^リーツ^オ(かぶりつ)かれて恐水病となる

Kapsul-o 〔化〕小皿, 〔植〕さや, 〔解〕裏状器

帽状器, 〔膠〕裏(飲みにくき菓を包む)
小皿にて水をば掬^ヒひ夏の旅
コップ代用にかぶカ^ススーロ(がぶ吸ふ路)

Kapt-i 捕ふ, 捕獲す, 追付く

カ^ッティ(川縁)に追寄せ来り四^方田^ヲ
清正捕^ふと勇む荒武者

Kapucen-o カプシン僧(フランシス派の托鉢僧)

フランシス派托鉢僧のカプシン僧
之をエス語に「カプツェーノ」と言ふ

Kapuê-o 〔婦〕人外套の頭巾, 〔僧〕帽

(特にカプジン僧の), 〔工〕蓋
雪風に婦人外套の頭巾をば
外出の際深くカプーチ^ヲ(被つとろ)

Kar-a 〔親〕愛なる, 〔大〕事の, 高価なる

親愛なる友カー^ラ(から)珍器贈り来た
余程高価なる品と聞いてる

Karaben-o 施条銃, 〔軍〕騎銃

カラベーノ(唐兵の)唯一の武器は施条銃
然れども余程旧式と聞く

Karaf-o 水壘, 水差^サ

水壘のカラー^フオ(空方)々から買つて来て
荷造なして送る屑商

Karakter-o 〔性〕質, 〔性〕格, 人格

性格は快活にして人格は
いと高潔なカラ^テーロ(雅楽諦老翁)

Karakteriz-i 〔特〕性を表す, 〔特〕色を発揮す

特性を表す又発揮す文に道に
カラ^テリーズ^イ(歌楽諦理瑞)月の大神

Karambol-i キャノンす(玉突にて手玉の第一第二)

玉突の名手は常に「キャノン」する
カラ^ムボーリ(唐堀の)名人と聞く

Karamel-o 焼砂糖

焼砂糖と言へば良きものをカルメラと
洋称するカラメー^ロ(から迷路)に入るのだ

Karas-o 〔鮎〕の類

鮎の類時雨煮したる佐詰の
味は見るさへカラ^ンソにあり

(a)ダイヤモンド等を秤る)

Karat-o カラット(量目, b)金質を示す語)
宝石を秤る量目金質を
示すエス語を「カラート」と言ふ

- Karavan-o 隊商, 旅行隊
カラヴァーノ(唐馬の)背に荷物を満載し
市に行くかな隊商の群れ
- Karb-o 炭, 木炭, 〔鉱〕 石炭
石炭や炭にて火をばおこしつゝ
煮カルボ(かる棒)鯖味が良くない
- Karbon-o 〔化〕 炭素
雑木皆³炭素の多い木炭に
焼いて運べばカルボーノ(軽棒の)先
- Karcer-o 牢獄, 密室, 監禁所
共産党事件を起した罪人は
余程カルツェーロ(軽うて牢)獄へ行く
- Kard-o 〔植〕 薊³, ひれあざみ, やはずあざみ
牛馬の薬になると野路に出で
刺³ある薊カルド(刈る童)僕等
- Kardel-o 〔鳥〕 ひわ
ピーピーと怪しくひわ鳥啼きながら
冬木の枝に集³カルデーロ(かるてあらう)
- Kardinal-o 枢機官(法皇庁幹部)
法皇庁幹部中枢機官人は, 威張りた
カルディナーロ(がるで成ろう)と思はず
- Kares-o 愛撫, 抱愛
万有を愛撫し玉ふ主に抱カレー(かれ…)
ソコ(…底)の国なる苦悶すくはる
- Karier-o 経歴, 経路, 生涯の職
彼の紳士経歴, 経路を査おれば
生涯の職掌カリエーロ(花里宮楼)なり
- Karikatur-o 画漫, ポンチエ
金カリカトゥーロ(借りが登楼)なしてやに
さがる, そのスタイルは漫画, ポンチ画

- Kariofil-o 〔植〕 丁子³樹
風邪熱散らさんとして丁子樹の, 下に立寄り
果³ばカリオフィーロ(かりを拾ふ)
- Kariol-o 軽二輪馬車(無蓋の)
蓋の無き軽二輪馬車をカリ(借り)
オーロ(大路)を走る貧乏鬚の紳士
- Karmin-o 洋紅, カルミン
母親に抱カルミーノ(かる身の)乙女子が
洋紅つけてジャレ様とする
- Karn-o 肉, 肉体
肉食をせざれば身体強壮に
豚もカルノ(軽の)肉体となる
- Karnaval-o 〔宗〕 カルナバル節, 謝肉祭
カルナバル節に信³徒³集りて
カルナヴァーロ(歌流難破露)の祈願するかな
- Karo-o ダイヤ(トランプの)
カローオ(辛ふ)じてトランプのダイヤ手に
入つた, 今度は勝ちと花合せをする
- Karob-o 〔果〕 いなご豆
いなご豆早くカローボ(刈らう)と田吾作が
野辺に出づれば木枯が吹く
- Karot-o 〔植〕 胡蘿蔔³
胡蘿蔔の畑に立入り赤色の
根をばながめて甘カロート(からうと)曰ふ
- Karp-o 〔魚〕 鯉
養魚家が鯉の重荷を市にひさぎ
帰らん時は既にカルボ(軽棒)
- Karpen-o 〔植〕 しで
勘平かカルペーノ(軽べえの)かは知らねども
義士に先だちしで(死出)の山登る

Kart-o カード, 名刺, 献立書, カルタ等
住居及び主意が分**カルト**(かると) **献立書**
名刺を造り**カード**(門)々に配る

Kartav-i 喉にかけて発音す
尺八を**カルターヴィ**(借る度)毎に文法^ヲと
苦しく喉にかけて発音す

Kartilag-o 〔解〕軟骨
一室を**カルティラーゴ**(借る寺強)慾で
とても**軟骨**連は居られぬ

Kartoĉ-o 弾薬筒, ケース, 装弾
弾薬筒をばそつと隠して居る事が
判**カルトーチ**(かると懲)罰忽ち受ける

Kartografi-o 地図製作術
「**カルトグラフィオ**」はエス語にて
地図製作術の名称なり

Karton-o 板紙, ボール紙
板紙の裱着けて義太夫が
口^ヲ**カルトノ**(軽党の)仲間入りする

Kartuŝ-o 飾縁, 花枠, 〔建〕裝飾鏡板
洋室にか**カルトーション**(懸る当所)の**飾縁, 花枠**
裝飾鏡板能く似合ふなり
(二)数個の木馬, 舟など備へ

Karusel-o (一)輪乗(馬の), 回転して乗遊する装置
競馬場**輪乗**を為すも止むを得ず
身体**カルセーロ**(軽うせい驢)馬に似た馬

Kas-o (一)錢箱, 金庫, (二)框^ヲ
高利歩で金を**カーソ**(貸さう)と**錢箱**や
金庫を開き黄白を出す

Kaserol-o 丸鍋, シチュー鍋
丸鍋を**カセローロ**(貸せ浪々)の我なれば
飯をたくにも釜一個なし

Kask-o 兜^{カト}
重代の家の重宝**鎧兜**
カスコと(貸す事)成らぬと隠居頑張る

Kast-o 階級(特に印度の)
「**カスト**」は印度の**階級**四姓の意義
今は廢物**カスト**(粕と)なりけり

Kastanjet-o 四竹^{カス}の類
四ツ竹の類だ珍しと彼の人に**カスタン**イエート
(貸したの良えと)懇望するので

Kastel-o 城
名古屋**城**要鎮堅固の構へなれど
今の世にては**カステーロ**(カステラ)の如し

Kastor-o 〔動〕海狸
暗の夜に舟漕ぎ行けば海坊主
ズボンと浮**カストーロ**(かす頭顱)海狸

Kastr-i 去勢す
驛馬をば**去勢**するため獣医師が
睪丸内の**カストリ**(かす取り)棄つる

Kaŝ-i 隠す, 秘す
男の子^ヲが腹を損^スずと焦慮して
蠅入らずの中に**カーシ**(菓子)を隠す

Kaŝtan-o 〔植〕栗(果)
栗の代去年**カスターノ**(貸したの)を支払へと
いが栗頭を振つて催促

Kat-o 〔動〕猫
朝鮮で**カート**(加藤)の捕つた虎話
よくよく聞けば山の**猫**なり

Katafalk-o 葬龕^{カト}(棺を置く)
葬龕を担いで墓へ行く人夫
非常に**カタファルコ**ま(肩張る困)る道中

Katakomb-o 塚窖^{ツア}, 壁窟^{カナ}

幼き時吾父にカタコ^ムボ(肩こんぼ)

せられて塚窖, 壁窟見たりき

Katalepsi-o 〔医〕全身強直, 類癇

医学上全身強直状態を

「カタレ^ッスィーオ」とエス語曰ふなり

Katalog-o 目録, 総目録

目録の内容未だ分らねど

後でカタローゴ(語らう誤)解なきやうに

Kataplasm-o 〔医〕琶布^ヅ

医者に来て重い琶布をつけた故に

齒をうづかしてカタ^ッラ^スモ(肩凝らすも)

Katar-o 〔医〕カタル

鼻腔カタル俄におこり義太夫が

文楽に出てカタ^ーロ(語らう)とせぬ

Katarakt-o 白内障^ジ

子倅の白内障漸く全快し

先づカタラ^ット(肩楽)と親父喜ぶ

Katastrof-o 天災, 変災, 災害

天災でカタ^ストローフ(勝たすと老母)が申された

余り世人が解らないから

Katedr-o 僧正の座, 教授の椅子, 講座

僧正の座に直りつゝ婆嬭の

懷中ねらふカテ^ードロ(家庭泥)坊

Katedral-o 大会堂, 本山

本山の大会堂に集ふ信者

坊主のカテ^ーラーろ(糧取ら老)のみ

Kategori-o 種類, 範疇, 類目

水泳の種類や範疇示さんと, はだカテゴリーオ

(裸体で五里を)二時間におよぐ

Kateh(k)ism-o 〔宗〕教理問答

宗教の教理問答会に出て, カテキ^スモ

(勝つて来坐すも)と肩張りて行けり

Kateh(k)ist-o 問答示教者

今回もカテキ^スト(勝つて来ますと)宗教の

問答示教者勇み立ち行く

Kateh(k)iz-i 問答を以て教ゆ

よろこばしカテキ^ズィ(仮敵随意)に討たん為

問答を以て教ゆる誠

Katen-o 鎖(罪人を束縛する)

三界の子は首かせと聞きしかど

実はカテ^ーノ(家庭の)鎖なりけり

Katolik-a 羅馬教の, カトリックの

カトリ^ーカ(蚊取か)ハイトリックか知らねども

カトリックの僧人を捕り食ふ

Katun-o 綿布, 更紗

綿布なり更紗は殊に織物の

中でもカト^ーノ(下等の)品物ぞかし

Kaūci-o 担保, 保証

カ^ッツ^ィーオ(耕地を)担保となして金を借るに

保証人とは二重でないか

Kaūcuk-o 弾性ゴム

天井カ(孔)チ^ーコ(鼠公)が泣けば下も泣く

弾性ゴムがピンピンとする

Kaūr-i 蹲^ツつてゐる, しやがんでゐる

カ^ッリ(高利)貸の沓音聴きて宿六が

座敷の隅に蹲^ツつてゐる

Kaūteriz-i 〔外〕焼灼す, 腐蝕せしむ(腐蝕剤等にて)

臂の腫れ剤をもつて腐蝕せしむ

亀のカ^ッテリ^ズィ(甲照り爺)となるらん

Kaūz-i 惹き起す, 招く, 致す
東北の暴風雨強く忽ちに
地上にカッズィ(洪水)惹き起すなり

Kav-o 穴, 空^ツ, 凹^キ, 洞
穴, 空凡て秘密となるものは
何れも土地のカーヴォ(下方)にぞある

Kavaleri-o 騎兵
騎兵等は普通歩兵と待遇も
少しカヴァレリーオ(変れり欧)洲戦争より

Kavalir-o 騎士(歐洲中世貴族の一階)
我国の騎士とはカヴァリーロ(変り露)西亞また
歐洲諸国の中世貴族の一階

Kavern-o 巖窟, 洞穴
カヴェルノ(壁流の)立つるが如き岩山に
神の潜める静の巖窟

Kaviar-o 塩漬^{ソッ}はらご
貯えし塩漬はらご梅雨のために
カヴィアーロ(徹^ソあらう)かと調べ見るかな

Kaz-o 〔文〕格
文章の格をカーゾ(数)へて瑞月が
エス和辞典の記憶歌を詠む

Kaze-o 凝乳
母親がカゼーオ(風邪を)ひいて乳が出ぬ
それ故凝乳買つて飲ませる

Kazemat-o 窖室, 〔軍〕地下牢
警察カゼヤートも(風真面)に受けて鼻すゝり
窖々泣くなり地下牢の室

Kazern-o 〔軍〕兵營
カゼノ(風出るの)夜は兵營の淋しさよ
鬼哭愁々墓原の跡

Kazin-o 娯楽会合場
カズィーノ(火事の)鐘聞くより娯楽会合場
周章飛び出す江戸ッ児の兄さん

Ke 〔接〕……すること, ……するとは
「ケ」しからぬすることごとにへまばかりする
とは実に困つた代物

Kegl-o キール(球を投げて棒を倒しあふ遊戯又其棒)
球を投げて棒を倒しあふ遊戯
又そのキールまで「ケー^ルろ」と言ふ

Kel-o 穴蔵, 地窖
穴蔵を雞吏が搜索するまでの
ケー^ルろ(経路)は実に可笑しかりけり

Kelk-a 或る, 若干の, 数個の
若干のエス語会員出ケ^カカ(出来るか)と
或る方法で宣伝をする

Kelner-o 給仕, ボーイ
便船のボーイにそつと握^マませば
早夜が更ケ^ネネーロ(ける寝ろ)と親切

Ken-o 樹脂^ニを含む木材
樹脂含む木材以ちて家造る
大工忽ち化ケーノ(けの)皮脱ぐ

Kep-o 仏国軍帽
仏国の軍帽見れば勇ましく
ケーボ(敬慕)の心おのづから湧く

Ker-o ハート(トランプの)
トランプのハートを一枚ゴマかして
ケーロ(ける)りとして悪い奴かな

Kern-o (一) 核^カ, (二) 心^シ
核心に触れんと出入頻繁に
いたケ^ルノ(猛るの)神立ち上るなり

Kerub-o (一) ケルビン (天使), (二) 美児
天使が抱ケルーボ(ける坊)は地の上の
人の児よりも優に美児なり

Kest-o 箱, 函
電燈をケスト(消すと)忽ちゲラ箱も
提燈箱も在所わからず

Kia 〔相〕(一) 如何なる, (二) ……如き
乳呑児をおいて帰つた女房は
如何なるキア(気や)訳が別らぬ

Kial 〔相〕何故に, なぜ
どこ迄もお前と一生添ふと言ふ
キア(気ある)妾を何故に凝ふ

Kiam 〔相〕(一) 何時, (二) ……する時に
何時とても嬉しキア(気按摩)する時に
餓鬼が眼をさますうさゝ

Kie 〔相〕(一) 何処で, 何処に, (二) ……する所に
火がキエ(消え)て何処で, 何処にと手探りを
する所に又パツト電燈つく

Kiel 〔相〕(一) 如何にして, (二) ……として, …やうに
如何にして是だけ電燈がキエ(消える)
だろう, 地獄のやうに寂として居る

Kies 〔相〕(一) 誰の, (二) 其者の
なつかしキエ(きイエス)基督誰の為に
犠牲となるか其者のため

Kil-o 竜骨^{リハ}_{ネガラ}
戦艦に故障を生じ行きなやむ
キー(帰路)案ずる竜骨損傷

Kilogram-o キログラム
キログラムを「キルーラーモ」とエス語言ふ
「モ」が引ついて「ム」つかしくなる

Kilometr-o キロメートル
キロメートルを「キルーメーロ」とエス語言ふ
トル(取る)か、ロ(取らう)かの変りなりけり

Kinin-o 〔葉〕キニーネ
吾為に親しキニーノ(き兄の)感冒を
癒やさんとして「キニーネ」を買ふ

Kio 〔相〕(一) 何, 何事, (二) それは, ……する所の
何事につけてもキーオ(気を)もむ男
何々したと何々に言はれ

Kiom 〔相〕(一) どれだけ, (二) ……だけ(分量)
キーオ(気温)がどれだけ高いと言つたとて
熊本市にはとても及ばぬ

Kiras-o (一) 胸甲, 甲(二) 甲鉄(軍艦の)
(三) 甲良(亀などの)
胸甲やよるひを脱がせ敵将を
キラース(斬らさう)とした徳川家康

Kirl-i 掻き廻す, 攪拌す
〇〇をキルリ(きるり)きるりと掻き廻すを
老女よるこび自分も攪拌する

Kirs-o 桜実酒
何事にもあキルシ(飽きる性)分の吾ながら
桜実の酒の味は忘れず

Kis-i 接吻す
キース(生粋)の汝は御魂ぞ握手せん
接吻するとて迫る鬚虎

Kitel-o 寛潤の上衣(百姓などの着る), 布子, 粗服
田吾作がとんだ半纏輕そうに
キテール(着て勞)動するぞ勇まし

Kiu (一) 誰, どの, (二) それは……
〔相〕(一) 何れの, (二) する所の
キーウ(急)電をかけたるものは誰だらう
どの局附かと調べてぞ見る

Klač-i 悪口す, 誹謗す

ら一チく(コラ畜)生俺を悪口するのんか
誹謗するののか返答聴かうよ

Klaft-o 長さの単位(国に依り一定せず凡そ一間)

「らット」と言ふは長さの単位にて
大凡一間位なるべし

Klak-i ピシヤリと音す

夜るら一キ(暗き)戸をしめる手に
ピシヤリと音する庭に白雨の降る

Klap-o 〔機〕弁, とめ弁

間断も無く機関活動激烈に
腹を減らして弁(弁)当ら一ボ(喰らう)

Klar-a 明かなる, 判然たる, 清き, 晴れたる

明かなる, 晴れたる空も忽ちに
ら一ラ(暗く)成る此頃の空

Klarnet-o 堅笛の一種

堅笛を吹き立て進む軍隊が
口からよだれ「らネット」(繰らる)

Klas-o (一)階級, 等級, 学級, (二)部類, 〔博〕綱, 門

同階級同学級の朋友は
同一居所に, ら一ソ(暮さう)とする

Klasifik-i 分類す, 等級分す

村民のらスフィーキ(生活引き)比べつつ
等級, 分類してゐる議員等

Klasik-a 古典的なる, 古雅なる

何事も古典的なる神の家は
少しらスーカ(暮しが)変り居るなり

Klav-o 鍵(ピアノ), ボタン(タイプライ)

ら一ヴ(倶楽房)からピアノの鍵を借りに来た
演奏会が今宵あるだろ

Kler-a 教育ある, 開けたる, 有識の

子等のため余程教育ある師匠を
家庭に送り, れ一ラう(呉れらう)と頼む

Klient-o 得意, 顧客, 依頼人(弁護士) 患者(医師より)

信用ある店には顧客が八里, り(九里)
エト(遠土)地方から注文に来る

Klimat-o 気候, 風土

気候よく風土も清き丸山の, 遺跡に
びつ, りマート(くりマアと)あきれる

Klin-i 傾く, 斜にす, 屈む(頭又体を)

備前焼徳, り一ニ(利に)盛つた正宗を
傾くるうちに月もかたむく

Kling-o 刃, 刀身

天保銭が, り, ゴ(九厘五)毛に成りすまし
一戦(銭)せんと刀身引きぬく

Klinik-o 〔医〕臨床講義

せん, りニーコ(先繰りに講)師来たりて
患者等の, 臨床講義為すはうるさき

Klister-o 〔医〕灌腸

胃が悪い便秘したその苦しさに
灌腸するから, り, テーロ(栗棄てろ)

Kliš-i 〔印〕鉛版にとる, ステロ版にす

完全に人の姿を鉛版に
とる妙術に田吾びつ, り一ン(くりし)たり

Kloak-o (一)下水道, どぶ, (二)下水溜, 芥棄場

肥溜, (三)〔博〕排泄腔(鳥, 魚などの)
下水道流るゝ汚れは, ら一ア一コ(黒赤ふ)
色も変りていと醜し

Klopod-i 尽力す, 努力す, 骨折る

ら一ボーディ(苦勞坊爺)自他の区別も弁へず
国の御為と尽力するなり

Klor-o 〔化〕塩素

塩素をばなめた様なる辛い顔で
働いて居る、ろーロ(苦労老)人なり

Kloš-o 〔一〕鐘形の蔽、鐘形の物、〔二〕〔植〕鐘状花

鐘形の蔽をさしてエス語学
ろーシ(苦労性)とぞ称呼するなり

Klub-o 倶楽部、会

吾々と争ひ倶楽部に遊ばんと
クローボ(来る坊)主の頭照るかな

Kluk-i コッコ、コッコと啼く(牝雞)

柎、るーキ(狂ふ木)家の牝雞今日も又
コッコ、コッコと啼いて居やがる

Kluz-o 水門、堰

水門に毒藥投げんと乱徒等が
忍びて、るーゾ(来るぞ)歎てかりけり

Knab-o 男の子、少年

又しても幟を産んだ貧乏もの
男の子をば、ナーボ(苦な坊)と言ふ

Knar-i キーキーなる(軋る音)

御所車のキーキーとなる軋る音
高、ナーリ(高く鳴り)て陽は傾むけり

Kned-i 捏る

くねくねと理窟を捏る偽信者が
、ネーディ(来ないで)良いと坊主息づく

Koaks-o コークス

石炭で製造したるコークスも
エスペラント語は「コアッソ」と曰ふ

Kobalt-o 〔化〕コバルト

コバルトの色は恰も秋の空
コパト(小春と)同じ色を保てる

Kobold-o 妖魔、魑魅魍魎

妖魔(まが神)に誑らかされて眼ざめずば
神徳コボド(こぼると)教へ戒しむ

Kočenil-o 〔昆〕臙脂虫

その樹には臙脂虫族湧いて居る
コチェニーロ(此方に居ろ)と注意する父

Kodicil-o 〔法〕遺言附属書

兄弟が遺言附属書にたより
コディツィーロ(固持追陋)するは忌まはし

Koeficient-o 〔数〕係数

係数は数学上の用語なり
「コエフィツィエント」とエス語にて曰ふ

Kofr-o 櫃、トランク

トランクはコッロ(小風呂)敷に代用し
櫃は重要な容器とぞなる

Koincid-i 符合す、合致す

岡山のコイツィーディ(孤院序)に訪ひ見れば
人類愛に符合す、合致す

Kojn-o 楔(木石を割り又は起しなどする)

木石を打ち割る様な強意見
これもコィノ(好意の)楔なりけり

Kok-o 鶏

薬屋根に国家コーゴ(恒康)と伊勢の鶏
うたふもゆかし国の瑞祥

Kokard-o 帽章

帽章を見れば忽ち学生の
学コカド(校下流人)判然とする

Kokcinel-o 〔昆〕瓢虫

コツィネーロ(穀地根露)這出で忽ち羽を生じ
空中に飛ぶ瓢虫かな

Koket-a 仇つばい, 媚びたる, しやれたる
 仇つばい女に見惚れ途の石に
 足つまづいて**コケータ**「倒^マけた」でれ助

Kokluš-o 〔医〕百日咳
 性質の悪い**百日咳**に犯されし
コルーシ (児苦留症)をば癒す妙薬

Kokon-o 繭^マ
ココノ (此所の)繭は品質日本第一と
 蚕都綾部の人誇るなり

Kokos-o 〔果〕古々椰子
ココソ (此処其処)落ちて早く拾はんと
 古々椰子の果を小供争ふ

Koks-o 〔解〕股 (軀幹と腿との接合部), 臀^マ (俗に)
 寒くとも雪隠ゆけば臀捲くる
コソ (極暑)の夏は役も蚊が刺す

Kol-o 頸^マ
コー (コロ)コロと頸が沢山落ちて居た
 伏見と鳥羽の戦争の跡に

Kolbas-o 臘腸^マ, ソーセージ
 臘腸を舌鼓しつ美味さうに
 喰ふ老爺見て怒**コバース** (る婆相)

Koleg-o 同僚, 学友, 同業者
 同僚の誼^マをもつて懇ろに
 忠告する**コレーゴ** (これ御)身の為めなり

Kolegi-o 中学校, 高等学校, 専門学校
 中学校, 高等学校, 専門学校の
 学校彼**コレギーオ** (是義意を)教ゆる

Kolekt-i 集む, 蒐集す, 取立つ
 色々と馳走**集む**る覚式者
コレッティ (これ喰ふて)と客にすゝむる

Kolektiv-a 集合的, 共同的
 集合的な, 共同的なクラス人に, **コレッティーヴ**
 (是食て婆々)たれと薩摩薯出す

Koler-i 怒る, 怒つてゐる
 蓬髪を前後左右に振り立てゝ
 怒るのは**コレーリ**つ (是立)腹の症

Kolibr-o 〔動〕蜂雀, 蜂鳥
 蜂雀最も小さき**コリーロ** (小離歩路)
 花の蜜吸ふ蜂の鳥かな

Kolik-o 腹痛, 〔医〕疝痛
 毒茸と知らずに喰ひ腹痛を
 おこして全く**コリーコ**り (懲々)とする

Kolimb-o 〔鳥〕秋沙^マの類
 木**コリボ** (樵坊)山に入りてゆ網かけて
 秋沙の類を捕獲し帰る

Kolizi-o 衝突
コリズィーオ (狐狸 (古理) 随翁) 昭和の御代
 の青年と, いつも意見の衝突のみする

Kolodi-o 〔化〕コロヂウム
コロヂウムを「**コロディーオ**」と「尾」を付けて
 エス語はよめど「ム」りを感じず

Kolofon-o コロファン (一種の樹脂)
コロファンは一種の樹脂よエス語にて
 「**コロフォーノ**」と称呼してゐる

Kolomb-o 〔鳥〕鳩, 家鳩
 山鳩が樅の密樹に羽を休め
 「**コロボ**」と啼き天気を報ず

Kolon-o (一)円柱, 柱, (二)欄 (新聞などの)
 〔印〕縦行, (三)〔軍〕縦隊, 縦列
 円柱や新聞などの欄を見て
 毛唐の行^マ為^マと**コローノ** (古老の)繰り言

- Kolonel-o 〔軍〕陸軍大佐, 佐官
 聯隊長陸軍大佐の訓令に
 兵士は寝るコロ(頃)ネーる(寝る)と伝達
- Koloni-o 殖民, 殖民地
 夏のコロニーオ(頃荷を)ば船に積み込んで
 殖民地へと殖民が行く
- Kolor-o 色, 彩色
 傾城の色に迷ふて馬鹿殿が, ころころ一口
 (ころ老)臣手討とぞする(千代萩参照)
- Kolos-o 巨人, 巨像
 夢に見た巨人を斬つてコロソー(殺そう)と
 すれば巨像の奈良の大仏
- Kolport-i 行商す, 売歩く
 重い荷を肩にかついで寒村に
 行商すればコロポルティ(凝る棒ティ)となる
- Kolubr-o 〔動〕一種の毒蛇
 ハブ虫は毒蛇の一種人見れば, 忽ち
 おコローッロ(怒るぶろ)ぶろと尾をふる
- Kolz-o 〔植〕菜種^{ナタ}, 油菜
 菜種まで零度を下つた厳寒に
 閉ぢつけられてコロゾ(凍るぞ)忌々しき
- Kom-o 〔文〕コンマ
 寸毫のコー(功モも)立てない役員を
 コンマ以下とぞエス語にて曰ふ
- Komand-i 〔軍〕司令す, 指揮す
 コマディ(高慢爺)総大将に選まれて
 部下を司令す軍隊を指揮す
- Komandit-o 合資会社
 合資会社設立したるコマディート(高慢爺と)
 と銀行業者は貧民を泣かす

- Komb-i 櫛にてすく, 梳る
 コムビ(公務日)に官吏出勤せんとして
 縮れたる髪を櫛にてすくなり
- Kombin-i 組み合わせはす, 合同せしむ 〔化〕化合せしむ
 コムビーニ(公務日に)月給取りが登庁し
 主義者と資本家組み合わせはすなり
- Komedi-o 喜劇
 コメディーオ(米爺を)ハ*木*ハ*木*八十八と
 言ひ, 喜劇の中の主人公とする
- Komenc-i 始む
 コメンツィ(古面対)やつと手に入れ能の舞
 始むる能楽師匠の罹災
- Komentari-i 註解す, 註釈す
 コメンタリーイ(顧面多理意)受け納れ難き
 難文を, 註解するは言霊の道
- Komerc-i 商ふ, 商売す
 群山はコメルツィ(米入る地)の朝鮮市
 商ふものは五穀商のみ
- Komet-o 〔天〕彗星
 彗星がまた東天に現はれた
 コメート(米と)綿とが騰貴するだらう
- Komfort-a 心地よき(衣食住にいふ), 安楽なる
 コムフォルタク(金宝琉沢)山持つて心地よき
 衣食住する資本家生活
- Komik-a 滑稽なる, おどけの, 可笑しき
 何人の仕コミーカ(込みか)知らぬ滑稽なる
 事ばかり書く宮武外骨
- Komisar-o (一)委員(官の), (二)〔軍〕主計官
 綱紀をば肅正せんと政府委員
 官吏社会のコミサーロ(埃浚らふ)哉

- Komisi-i 委任す,〔商〕代弁す,取つぐ
正確な人格見**コミスィーイ**(込み地位)与へ
財政整理を**委任**するなり
- Komision-o 委員会
上段の**コミスィオーノ**(小簾い王の)座を造り
蒙古は政治の**委員会**を開く
- Komitat-o 委員会,委員,総代(全員をいふ)
委員会,委員が集りて復興の
見**コミタート**(込み立たうと)評定一決
- Komiz-o 手代,書記,番頭,店員
大本の**手代**か書記か知らねども
見**コミーズ**(込みぞ)立ちし人の居るかな
- Komod-o 箆筒
家の**コモード**う(子どもどう)かなして嫁入りに
桐の**箆筒**を買つてやりたい
- Kompani-o 会社
会社船**コムパニーオ**(金波に応)じ航海を
無事に續けて内地に帰る
- Kompar-i 比較す
狭^ワ震^シず**コムパーリ**(こむ巴里)の都に**比較**すれば
丹波の霧は一入^ニ深し
- Komparativ-o 〔文〕比較級
秋の池**コムパラデーヴ**(金波等提防)に
押しよせて,紅葉の錦と**比較級**する
- Kompas-o 羅針盤
羅針盤取り外づしたる商店の
コムパーソ(困破騒)動は家財分散
- Kompat-i 同情す,憫れむ
コムパーティ(権八)に高尾太夫が**同情**す
目黒にのこせし比翼塚これ

- Kompens-i 償ふ,補ふ,代償す,補整す
祖先から積りし罪を**償ふ**は
コムペンスィ(困弊運衰)と信ずる教^キ徒^ト
- Kompetent-a 資格ある,権限を有する,優れたる
資格ある人を集めて究霊会
起さんとして**コムペテンタ**(困弊転倒)する
- Kompil-i 編纂す,編輯す
コムピーリ(混否理)色々集め**編纂**す
雑誌漸く認識せらるゝ
- Komplement-o 補足,補充,〔文〕補語
補充,**補足**,**補語**のエス語を**コムプレメント**
(混布連面当)称呼してゐる研究會員
- Komplet-a 全く完備せる
コムプレータ(婚婦礼足)りて**全く完備**せると
仲人はほくほく顔に喜ぶ
- Komplez-o 深切,叮嚀,慰懃
深切に**コムプレーズ**(懇富霊像)送り来る
好意を謝して厚く祭らん
- Komplik-i もつらす,入組ます,錯綜せしむ
秋の田に**コムプリーキ**(金風力)吹き荒び
早稲の穂浪を**もつらす**暴風
- Kompliment-o 挨拶,お世辞
お世辞式挨拶するをエス語にて
コムプリメント(懇富利面頭)と称呼するなり
- Komplot-o 陰謀,姦計
コムプ(狐ン婦)ろート(ロート)目薬服用し
陰謀,**姦計**のみで誤魔かす
- Kompon-i 組立つ,合成す,〔音〕作曲す
組立つる会社の主義は世の為と
識者階級の**コムポーニ**(懇望に)依り

Kompost-i 〔印〕組む(活字を), 植字す
天声社員野球のまりや**コムボステ**_i(棍棒捨て)
一生懸命に活版を**組む**

Kompot-o 砂糖煮の果物
砂糖煮の果物食ふと**コムポート**(棍棒と)
食ふはどちらが良いと思ふか

Kompren-i 了解す, 会得す
親友が知己が**了解**するためと
自由の**コムプレニ**(婚禮に)廻りつ

Kompres-o 〔外〕圧定布_{テメン}
圧定布用ゐて**コムプレソ**(婚禮礼装)の
支度するかな嫁の親達

Kompromis-o 和解, 示談, 妥協
和解よし**示談**またよし**妥協**して, **コムプロ**
(婚禮老)ミーソ(味噌)附けてはならない

Kompromit-i 危くする(生命財産等)
財産等**コムプロミーテ**_i(婚禮老見て)生命を
危くするを知らぬ慾ぼけ

Komun-a 共通の, 公共の, 一般の, 共同の
共通の言語の余り研究に
焦慮**コムーナ**(込むな)と英学者曰ふ

Komunum-o 地方自治体, 市町村
「**コムヌーモ**」此の言霊はエス語にて
地方自治体の称呼とぞなる

Komuni-i 〔宗〕聖餐を授く
聖餐を授くと言ふクリスマスに
コムニーイう(混入)せんとす乞食団隊

Komunik-i 伝ふ, 通ず, 通信す
コムニーキ(公務日記)詳細明瞭に書きしるし
子孫の末まで来歴を**伝ふ**

Kon-i 識つてゐる, 知合である
学**コーニ**(校に)**識つてゐる**だけ學術を
究め尽した博士連中

Koncentr-i 集中す, 一点に帰せしむ
何も彼も皆聖域に**集中**す
コンツェントリ(混痛速土里)善きも悪きも

Koncept-o 概念, 意想
コンツェプト(魂智恵太)く保つ者は**概念**と
意想に世をば生かすなりけり

Koncern-i 関す, 係はる, 当る
コンツェルニ(困痛速流に)**関する**書典は鹿ヶ谷
平家を滅ぼす陰謀の巻

Koncert-o 音楽会, 演奏会, 合奏
是だけに人が会場に**コンツェルト**(込んでゐると)
音楽会も儲かるだらう

Konciz-a 簡明な, 簡潔な,
コンツイーザ(魂地位座)いや高ければ一切を
簡明, **簡潔**に裁き得るなり

(一)罪を宣告す, (二)咎む, 責む,
Kondamn-i (三)用に適せずと言渡す
判官が無実の**罪を宣告**す
弁護も**コンダムニ**(此度は無に)せぬと曰ふ

Kondicional-o 〔文〕仮定法
コンディツィオナーろ(金泥地を習ふ)と表具屋の
小僧, 仮定法から研究をする

Kondiĉ-o (一)状件, 要件, (二)状態, 情状
御仏の教の**条件**記したる
コンディーチョ(金泥帳)ぞ尊きろかも

Kondolenc-i 弔慰す, 悔みを言ふ
宗教家が震災靈魂**弔慰**する
コンドれツィ(昏倒連遂)死者のためにと

- Kondor-o 〔鳥〕大兀鷹オウゴン
 コンドーロ(金堂楼)の陽に輝ける青空を
 大兀鷹の翱オウゴン翔オウゴンして居り
- Konduk-i 〔一〕導く, 牽く(牛馬を), 〔二〕到る
 通ず(路が), 〔三〕指導す, 管理す
 生地獄導くものは慾望と
 コンドーキ(此度聞)きたり神の教に
- Kondu-t-i 行ふ, 振舞ふ
 バプテスマ行ふためにヤソ教に
 入信したるコンドーティ(近藤貞)二氏
- Konfederaci-o 聯邦, 聯合
 コンフェデラツィーオ(魂兵で埒を)明けぬ
 聯邦の, 聯合軍は屁古たれにけり
- Konfekci-o 仕立, 出来合ひ
 出来合ひの砲車を仕立てコンフェツィーオ(混兵
 駆逐を), 計りつゝ端郡王は連合軍と戦ふ
- Konferenc-o 會議, 協議会
 コンフェレンツィ(近兵連強う)主張し協議会を
 開きて国防會議を続ける
- Konfes-i 〔一〕自白す, 懺悔す, 〔二〕信仰を告白す
 コンフェスィ(困弊し)てかくし了ふせた罪状を
 司の前に髭虎自白す
- Konfid-i 〔一〕信用す, 〔二〕委託す, 頼む
 コンフィーディ(困貧爺)なれど正直正道と
 世間の人が信用するなり
- Konfidenc-o 内密の話, 機密
 内密の話や機密は漏らさじとコンフィ(今ヲ日ビ)
 デンツ(電通を)不用と為したり
- Konfirm-i 〔一〕確かむ, (確定, 確認, 確証す), 〔二〕追認す
 批准す, 〔三〕(宗)按手式を行ふ
 正邪をば確かむるため御鎮コン(魂)
 フィルミ(昼見)に行く靈学修行場

- Konfisk-i 没収す, 取上ぐ
 是昨コンフィスキ(今非隙)あれば財産を
 没収すると暴政家曰ふ
- Konfit-i 砂糖漬とす
 うまさうな青々とした赤大コン(根)
 フィーティ(曳いて)風味良き砂糖漬とす
- Konflikt-o 軋轢, 衝突, 葛藤
 コンフリット(魂不利苦闘)の結果衝突し
 軋轢, 葛藤激しく成りたり
- Konform-o 自然の形態, 本来の恰好
 二股の大コンフォルモ(根掘るも)面白い
 自然の形態大黒に供へる
- Konfuz-i 乱す, 混乱さす, 惑はす, 狼狽へさす, 困らす
 世を乱す, 惑はすなどと压制して
 鎮コンフーズィ(魂封じ)やうとする官
- Konglomerat-o 礫岩, 蜜岩
 コングロメラート(魂黒奴等と)礫岩や
 蜜岩投げて怒り詈する
- Kongregaci-o 〔宗〕修道会, 聖省
 コングレガツィーオ(魂愚連が地位を)得んとし
 修道会に, 身魂聖省せんとしてゐる
- Kongres-o 大会, 會議(諸国又は諸方より集る)
 大会に出席せんと貴婦人が
 紅白粉でコングレーソ(金具礼装)
- Konjak-o コニャク酒
 コニャク酒買つて来たから餐応する
 君友誘ふてコンヤーク(今夜来)いやい
- Konjekt-i 推量す, 臆測す
 推量する君の窮コンイェッティ(困永苦地位)を
 僕等は聞いて心配してゐる

Konjugaci-o 〔文〕活用(動詞の)

湯ヶ島の温泉見れば男子女子

コ_レユガツィーオ(混湯が地位を)活用繁昌

Konjunkci-o 〔文〕接続詞

禿げ老爺小言ばかりを接続詞(し)

コ_レユンクツィーオ(こん言ふ口を)ねぢたい

Konk-o 介殻

介殻を板の椽側に投げ付けて

見ても〔コ_レコ〕と鳴らずガチャガチャ

Konkav-a 凹面の

君コ_レカーヴ(来ぬかばあ)とするような

凹面の、おたやん今夜来る筈だから

Konkir-i 征服す、略取す

命限りコ_レキーリ(根限り)神軍征服す

民の財宝略取する敵を

Konklud-i 決定す、結論す、終結す

覚式で神コ_レるーディ(魂狂ふ爺)の髭

皆軽忽に決定するなり

Konkord-o 和合、一致、符合

四コ_レコルド(魂凝る同)う士が和合一致せば

その言行心も符合するなり

Konkret-a 具体の、具象の

コ_レレータン(困苦冷淡)に扱ふならば何事も

具体、具象の境域に達せむ

Konkur-i 競争す、競ふ

境内に敷く「コ_レクーリート」入札に

競争するなる請負工夫が

Konkurenc-o 〔商〕競争

コ_レクレツォ(困苦連強う)競争続けつつ

遂に勝利の都に到る

Konkurs-o 競技、競争(懸賞などの)

競技会勝を占めんと勉強すりや

清き心コ_レクルソ(魂狂ふさう)なり

Konsci-o 意識、知覚、本心

意識をばコ_レスツィーオ(魂統²地位王)と

エス語言ふ、意識は異色に国語通ずる

Konscienc-o 良心

良心は凡てのコ_レスツィエツォ(魂統地位円頭)

坊主に却つて無きものぞかし

Konsekr-i 〔宗〕供へる、清める

神前に供へる品はコ_レセーリ(魂精垢離)

汚れなきまですつかり清める

Konsekvinc-a 必然の、当然の

必然の結果はコ_レセーヴエンツァ(魂精苦鞭痛惡)と

悟れば早く改心をせよ

Konsent-i 承諾す、同意す

注文を承諾すると電話すれど

皆コ_レセンティ(混線で)意味が通ぜぬ

Konserv-i 保存す、保蔵す

家の宝保存する術なかりけり

貧コ_レセルビ(困せるビー)ビーの身は

Konservativ-a 保守的、守旧の

コ_レセルヴァテヴァ(紺セル婆片足²)引き引き

守旧家が、いつも保守的行動を為す

Konservatori-o 音楽学校

コ_レセルヴァトリオー(婚せる婆ア取合ふ)為に

奏楽する、奴は何者音楽学校の奴

Konsider-i 考慮す、注意す、観察す

考慮する価値は充分あるだらう

コ_レスィデーリ(昏睡底裡)の仮死の重病

Konsil-i 助言す, 勧告す, 忠告す
問題の幹**コンスイーリ**(根知り)弁護士や
被告に**助言**するは真友

Konsist-i …より成る, 成立してあり
神経より成る病人の**コンスイ**(昏睡—)
ステイ(主治)は最早や匙を投げてゐる

Konsistori-o 〔宗〕枢機員会
コンスイストリーオ(昏睡す肚裏を)残らず
さらけ出し, 恥かいてゐる**枢機員会**の人

Konsol-i 慰む, 慰撫す
吁々遺**コンソーリ**やう(恨総領)息子に先だゝれ
慰むべきもなき親父かな

Konsonant-o 〔文〕子音, 子音字
文法の子音をエスペラントにて
コンソナント(根素難登)と称呼するなり

Konspir-i 謀叛を企つ, 一味徒党す
信長を殺害せんと光秀が
コンスピーリ(困主非理)の**謀叛**を企つ

Konstant-a 不変の, 不易の, 恒久の
〔**コンスタタ**〕チノープルには昔より
一定**不変**の政綱がある

Konstat-i 検証す, 確証す(書面を以て)
〔**コンスターテイ**〕ノープルにて洋行の
旅客**検証**するぞ五月^ツ蠅^サき

Konstern-i 仰天さす, 落胆さす
高姫が自我心我**コンステルニ**(魂捨ててに)とて
宣伝使をば**仰天**さすかな(靈界物語参照)

Konstituci-o 憲法
結**コンステイトツイーオ**(婚す少いたう地位を)
得たものは, 七八十歳でも許せる**憲法**

Konstru-i 建築す, 建造す, 組立つ, 作る
桶伏の山に神殿**建築**するを
待つて碎きし**コンストルーイ**(困数党類)

Konsul-o 〔史〕領事, 執政官
執政官又は**領事**は**コンスー**(根枢路)に
立ちて国家を代表するなり

Konsult-i 相談す, 諮る
どうしようかと**相談**すれば思案した
あとで**コンス****ステイ**(斯うすると)答へた

Konsum-i 消耗す, 用ひ尽くす, 次第に無くす
神教に一靈四**コンスーミ**(魂澄み)渡り
邪悪分子は全部**消耗**す

Kont-o 勘定, 計算
年末の**勘定**, **計算**は大の赤字
見るより親父は**コント**(昏倒)なしけり

Kontakt-o 接触
桜島大**コンタクト**(根煮くと)柔かく
味よく舌の**接触**もよし

Kontant-a 〔商〕現金の, 即時払の
現金の儘に手に入れ高飛びと
コンタタく(魂胆企)む詐欺師親玉

Kontent-a 満足せる, 得意なる
金剛不壊宝珠を天道に戴いて
コンテタ(魂転倒)のきつい**満足**

Kontinent-o 〔地〕大陸
大陸地その**コンティネット**(根底粘土)また
破物により構成されたり

Kontinu-a 連続的の
コンティヌーア(根定の悪)しき事業は破るべし
連続的の繁栄は無し

Kontor-o (一)帖場, (二)商館, 支店 (外国に於ける)
 帖場及び支店の奴が氣に喰はぬ
 俺も明日からコントーロ(来んと居らう)か

Kontraband-o 密輸入
 コントラバンド(今度番頭)が責を引受けて
 密輸入して押えられ泣く

Kontrabas-o 〔音〕コントラバス(一種の低音絃楽器)
 「コントラバース」とは一種の低音絃楽器
 コントラバスと英語曰ふなり

Kontrakt-i 契約す
 髭虎と修業に来ると契約す
 されどもコントラティ(来んと楽で)良らしい

Kontralt-o 〔音〕反対中音(最低女声音)
 コントラルト女の声反對の
 中音にしてコントラト(魂取らると)思ふ

Kontrapunkt-o 〔音〕旋律配合法
 音学の旋律配合法これを
 エス語「コントラプント」と曰ふ

Kontrast-o 対照
 何につけ良い対照と言ふ言を
 「コントラスト」とエス語英語いふ

Kontraü 〔前〕に対して、に向き合つて
 髭虎が月に対して打仰ぎ
 猫撫声でコントラ(魂奪う)とぞする

Kontribu-i 義捐す, 寄稿す
 義捐する記事を見るより上中下
 コントリブーイ(根取り不意)と寄稿してくる

Kontribuci-o 軍税, 戦費, 賠償
 コントリブツィーオ(金取部地位を)辞職し軍税や
 戦費, 賠償の役目を勤むる

Kontrol-i (一)引合はす, (二)検査す, 監督す
 ホヤホヤの若い官吏で判らねば
 コントローリ(今度老吏)に引合はすと言ふ

Kontur-o 外圈, 周線, 輪廊
 石垣の外圈行けば危険なり
 コントゥーロ(昏倒路)とぞ世人がいがいふ

Kontuz-o 打撲傷, 挫傷
 自警団に〇〇人と誤認され
 打撲傷を受けてコントゥーゾ(昏倒ぞ)する

Konus-o (一)〔幾〕円錐, (二)〔植〕秘果
 幾何学の「コヌース」は円錐の
 称呼とエスペラント語に曰ふ

Konval-o 〔植〕すゞらん, きみかげさう
 コヴァーろ(小馬路)きみかげさうやすゞらんが
 我行く路の左右に匂へる

Konveks-a 凸面の
 凸面の畑に生ひたるコンヴェッサ(混米草)
 耕し取れど又生えて来る

Konven-i 適當す, 相応す, 似合ふ
 非常時の内閣組織する材は
 山本コヴェーニ(権兵衛に)適當するなり

Konvenci-o 協定, 協商
 条約の協定又は協商に出張さすべく全権に
 コンヴェンツィーオ(懇弁地位を)与へて遣はす

Konversaci-o 会話
 コンヴェルサツィーオ(権兵衛の殺意を)柔らげ
 円満に, 解決させむと會話に日暮るる

Konvert-i 改変せしむ (宗教, 党派) 改心せしむ,
 意見などの 転換す. 変成す
 宗教や党派の意見を根底より
 改変せしむコンヴェルティ(権平爺)さん

Konvink-i 納得せしむ, 説服す

コ_ンヴィ_ンキ(魂敏機)円満活用する人は
如何なる邪人も納得せしむ

Konvolvul-o 〔植〕昼顔

若人が喧嘩の果にコ_ンヴ_ルヴ_ルー
(棍棒折る浮浪), 暴露したのが昼顔の簪

Konvulsi-o 〔医〕搐搦_{こむぎ}, 痙攣_{けいれん}

痙攣を起す度毎憑依せる
コ_ンヴ_ルス_ィーオ(魂腐流水を)改善せらる

Kopek-o コペク(露西亜の銅貨凡一錢)

「コペーコ」とは露西亜の銅貨凡一錢ぞ
露語にはこれをコペクとぞ曰ふ

Kopi-i 写す, 騰写す, 模写す

我姿レンズに写すのみならず
悪評掲ぐるコピーイ(こっぴ)どい新聞

Kor-o (一) 心, (二) 心臓

タベコーロ(頃)心臓寺の鐘の声
心ともなき初秋の空

Koral-o 珊瑚, 〔動〕珊瑚虫

親とコラー_ル(子等老)人までが珊瑚樹を
珍_めの宝と尊重するなり

Koran-o コーラン(回々教経典)

回々の神の宣示の教_{きょう}典_{てん}を
コラーノ(子等の)ために買つて来る親

Korb-o 籃_{かご}, 〔軍〕小堡籃

玉籃に果物多く盛り重ね
提げて歩けば肩がコ_ルボ(凝る某)

Kord-o 〔音〕絃

三味線の絃が幾度も切断し
赤い顔して怒コ_ルド(こる同)人

Korekt-i 訂正す, 誤を正す, 矯正す, 〔印〕校正す

コレ_クティ(是食て)泣くなと言はんばかりまで
訂正するとエライ御厄介

Korelativ-a 相関の, 相依れる

相依れる聖団の人々神と国に, 相関の
勇者よコレ_ラティ_ーヴ_ラ(是等低場)ぞ

Korespond-i 書信を往復す, 文通す

知己朋友書信を往復する様を
「コレ_スボン_デ」とエス語曰ふなり

Koridor-o 〔建〕廊下, 行廊_{ぎやうだう}

コンクリート固め締めたる土廊下
コリドーロ(凝り道路)の気持良きかな

Korife-o 指導者(科学芸術の)

科学及び芸術指導者は新らしく, コリ_フェーオ
(古理弊を)根本的に排除して行け

Kork-o コルク, コルク栓

怒コ_ルコ(こる児)をなだめんとして湮没水の
コルクを抜いて機嫌とる乳母

Korn-o (一) 角_{かく}, (二) 〔音〕喇叭の類

角張つた肩聳やかし赤面が
無暗に怒コ_ルノ(こるの)芝居可笑し

Korne-o 〔解〕角膜(眼の)

肩のコ_ルネーオ(凝る姉を)遙々訪ひ見れば
角膜炎を病んで寝てゐる

Kornet-o 〔音〕コルネット(喇叭の類)

コルネット喇叭の類を「コ_ルネート」と
英西普埃蘭等〔_{エグランド}〕語称呼するなり

Kornic-o 〔建〕軒蛇腹_{けんじふ}

軒蛇腹_{けんじふ}着けて造りし人の家は
雨風起コ_ルニーツ_ク(こるに強く)耐ゆる

Kornik-o 〔鳥〕小鴉

是程の肩が**コルニーコ**(こるに小)鴉が
気分の悪いガアガアと啼く

Korol-o 〔植〕花冠

私慾のみ計れる**コローロ**(虎狼老)人が
葬式かざる**花冠**の美々しさ

Korp-o 体, 身体, 物体, 実体

流体の水も**物体**の一つなり
寒風荒び**コルポ**(氷る棒)柱

Korporaci-o 会社, 法人, 社団

法人や**会社**を英西普埃蘭等〔**スバト**〕語に
「**コルポラツィーオ**」と称呼するなり

Korpus-o 〔軍〕軍団

暴動が起**コルプーン**(こる物騒)な世となりて
一**軍団**の動員命令

Korsaj-o 胴衣, 胴(女の服の)

女の服の**胴衣**窮窟で肩が**コルサージ**。
(凝るさあ嬢)には着せられないだらう

Korsar-o (一)槍掠船(敵の商船を), (二)往時の海賊
槍掠船敵の軍器や貨物また

軍夫までも**コルサーロ**(殺すあらう)と曰ふ

Korset-o コルセット(鯨骨などにて張り)
たる婦人の胸衣

鯨骨で張りたる婦人の胸衣**コルセット**
之をエス語に「**コルセート**」と曰ふ

Kort-o 庭(壁や建物に囲まれた空地)

壁または建築物に囲まれた
空地の**庭**に肩**コルト**(凝ると)遊ぶ

Korrupt-i 買収す, 贈賄す

買収す, 贈賄すてふ不人道
発覚なして**コルプティ**(転ぶ地位)かな

Korv-o 〔鳥〕鴉, わたり鴉

〔**コルヴ**〕と鳴くは臍かミミツクかと
思ひ初めしに鴉なりけり

Korvet-o 〔海〕コルベット型軍艦

コルベット型軍艦之をエス語にて
コルヴェートと称呼するなり

Kosmetik-o 化粧法, 美容法

化粧法, 美容法など熱心に
乙女が**コスメティコ**(小爪小さいこ)してゐる

Kosmogoni-o 宇宙創造論

公爵が**宇宙創造論**に敗けて, **コスモゴニーオ**
(小角力後二位を)愧かしめてる

Kosmografi-o 宇宙誌

宇宙誌の研究者等が首集め, **コスモグラフィオ**
(兎角力位を)取つて居るなり

Kosmopolit-o コスモポリタン, 世界人

コスモポリート(小角力ぱりっと)投げられ
怪我せし姿かな, 神を知らざる**世界人**等は

Kost-i 価す, 価を要す, 費用を要す

金剛石以上に**価す**宝玉と
如意の宝珠を**コスティ**(買ふ主亭)哉

Kostum-o 衣裳, 服装, 服式

花魁の**衣裳**は令嬢に**コスターモ**(越すとも)
矢張りどこかに品格はなし

Kot-o 泥, 泥濘

太古には**泥**と流れし濁水も
今は**コート**(砒土)と固まりしなり

Kotiz-i 割前を払ふ, 釀出す

割前を払ふ懇親会に行く
古い頭の**コティーズィ**(固定爺)翁

Kotlet-o カツレツ

精肉を油で揚げた「コ_レート」
英語は是をカツレツと言ふ

Koton-o 綿, 木綿, 綿花

コト_ノ (殊の) 外肌暖かき木綿服
綿入れなれば殊更に良し

Koturn-o 〔鳥〕鶉_ワ

鶉をば飼ふ家問へば其家と
コト_ルノ (答ふる農) 夫顔色も良し

Kov-i 巢につく (卵を孵すため)

コー_ヰ (交_ニ尾_ノ) して鶏卵子を孵さんと
餌をば喰ひ飽き巢につくなり

Kovert-o 封筒, 状袋

封筒がコ_ヴ (肥と) 郵便切手まで
金を沢山出さにやなるまい

Kovr-i 覆ふ, 被せる, 蓋す, 遮蔽す

大空を覆ふ黒雲の間より
水分の露コ_リ (小降り) するかな

Kozak-o コザツク人, コザツク兵

コザ_コ (こごこ) ざと数多の雑兵横行し
暴威を揮ふコザツク人兵

Krab-o 〔動〕蟹

蟹が行く横さの道を歩み行く
奴をなま_ラ (くら坊) と曰ふなり

Krabr-o 黄蜂 (クマバチ)

黄蜂に眼球刺され痛み出す
その苦しさは_ラ (比ぶる) もの無し

Kraê-i 痰唾を吐く, ベツと吐き出す (口中の物を)

_ラ (暗地) なれば人にかゝるか判らない
無性矢鱈に痰唾を吐くな

Krad-o 〔一〕格子, 〔二〕〔機〕火床, 火網

光線の流通あしき_ラ (暗戸) を
取除け明るき格子戸にする

Krajon-o 鉛筆

鉛筆は時代遅れとなりにけり
狩り_ラ (場_ヲ用の) 山日記に用ゆ

Krak-i パチパチと音す

_ラ (暗き) 夜にパチパチと音す怪しさに
怪しみ見れば室内の火事

Kraken-o 薄ビスケット

神業になま_ラ (生倉系) の連中が
人目忍んで薄ビスケット喰ふ

Kramp-o 〔一〕〔工〕鋸_ノ, 彎形木_ノ, 〔二〕括弧

鋸の役を勤むる愛の児に
さ_ラ (桜桃) を買つて与ふる

Kran-o 嘴管, 竜頭, 栓口

嘴管が二股_ラ (ぐら (胯) の) 或点に
夜中となれば出沒するなり

Krani-o 〔解〕頭蓋骨

生蛭が首狩りなして首祭り
頭蓋骨をば_ラ (倉にお) さめる

Kratag-o 〔植〕山査子_ヲ

野山路の山査子の実を喜んで
採り_ラ (食つた児) 味よしと曰ふ

Krater-o 〔地〕噴火口, 噴泉口

噴火口, 噴泉口は大地球
_ラ (蔵底路) より水火吹くなり

Kravat-o ネクタイ, 襟飾

い_ラ (くらパーと) しても是非なし
ネクタイは, 皆洋服に必要なりせば

Kre-i 創造す, 創作す

書店から書いて、レーイ(呉れい)との督促に
この世創造する神話を創作す

Kred-i 信ず

どれ程に忠告しても八木連中
聞いて、レーディ(呉れいで)信ずるを得ず

Kredit-o (一)〔商〕信用貸, 掛

(二)貸方(帳簿の)信用, (取引上の)
信用貸して、レディート(呉れいでと)商人が
銀行頭取を恨む此の頃

Kreditor-o 〔商〕貸主, 貸方

何時までも返へして、レディートロ(呉れいで
取ろう)と思ひ貸方, 貸主血眼になる

Krem-o クリーム

クリームを買つて子供に与ふれば
又買つて、レーモ(呉れも)一つ欲しと言ふ

Kren-o 〔植〕わさび

伊豆の国赤城山下のわさびをば
年の、レーノ(暮れの)贈り物とす

Kreol-o 植民地産白人

国の為吾れ南洋を開拓せむ
植民地産白人を多く、レオーろ(呉れうど)

Kreozot-o 〔化〕ケレオソート

ケレオソートエス語は之を「レオゾート」と
改めてよむ化学の薬名

Krep-o クレブ (薄き縮みにして喪章)

「レーボ」薄き縮みの布片にて
喪章を送る今日ぞ悲しき

Krepusk-o 薄明(払曉又は黄昏の)

黄昏れて日は、レプスコし(暮れむ少し)薄く
明くて払曉の如くなりけり

Kres-o 〔植〕たがらし

たがらしを、レーソ(呉れさう)な顔して百姓が
吾門前を覗いて通る

Kresk-i (一)生ず, (二)成長す

、レキ(暮過ぎ)に生ずるかとぞ怪しまる
燈火に集まる火取虫族

Krest-o 烏冠^{トカ}, 冠毛

冠毛を少し、レスト(呉れと)依頼すれば
周章^テで烏冠を僕^ニ持て来る

Krestomati-o 文範, 文選

文選して、レストマディーオ(呉れずと待てよ)
俺が今、文範調べて訂正するから

Kret-o 白墨, 〔鉾〕白堊

白墨を買つて、レート(くれと)教員が
学校長に注文をする

Krev-i 破裂す, はちける, 割れる

髭虎と三^ニ五^ニ教の幹部とが
今日、レーヴィ(暮日)談判破裂す

Kri-i 叫ぶ

暗の夜に臆病者が茅の穂を
見てはびつ、リーイ(くり)幽霊と叫ぶ

Kribr-i 篩^{ふる}ふ

丸山で拾ふた芝、リー^リリ(栗ぶり)ぶりと
選り分くるため土を篩^{ふる}ふ

Krim-o 罪, 犯罪, 罪惡

本堂も、リーモ(庫裏も)坊主借金の
抵当に入れて罪に問はるゝ

Kriminal-a 〔法〕刑事の, 犯罪の

刑事の眼さ、リミナーら(探り見ながら)犯罪の
証拠とらんと変装して居る

Kring-o ビスケットの一種

ビスケットの一種類似の食物を

エスペラントは「**リゴ**」と曰ふ

Kripl-a 不具なる

眼の玉は**リーラ**(クリ, プラ)プラ手も足も

不具なる御子と蛭子生るゝ

Kript-o 教会堂下の窖

「**リット**」の教会堂下の窖見れば

若き男女が囁いてゐる

Krisp-o (一)丸襷襟(十五六世紀頃用ひたる)

(二)〔解〕腸間膜, (俗称)(三)縮れ, 襷, 大皺

十五六世紀の頃に用ゐたる

丸襷襟を「**リスボ**」(苦力守帽)と曰ふ

Krist-o 基督

基督をクライストまたハリストス

エス語は是を「**リスト**」と言ふ

Kristal-o (一) 結晶, 結晶体, (二) 水晶, 無色玻璃

リスターろ(固石数多露)羅列せる山中に

混りて**結晶**, **水晶**包まれ

Kriteri-o 標準, 徴証, 準度

リテリーオ(庫裡庭裏を)標準として建てし家は

仏道帰依者の徴証なるらむ

Kritik-i 批評す, 批判す

亀山へ**リティー**キ(九里地域)なり直径なれば

御神示を**批評**する価値更になからう

Kriz-o (一)〔医〕分利(病勢の急変), (二) 危機, 急場

病勢の急変**分利**, **危機**と曰ふ

医者 of 診定にびつ**リーゾ**(くりぞ)する

Krizantem-o 菊

リザ・**テー**モ(庫裡残庭も)ふさぎて菊を

並べたる, 大寺の秋の眺め良ろしき

Kroĉ-i 釣にかける, ひつかける

伊根鰯を**釣**にかけるとポトポトと

ローチ(黒血)が庭に落ち溜るなり

Krokodil-o 〔動〕 鰐魚?

甲冑を身に纏ひたる大**鰐魚**を

ロコディーろ(苦勞甲治郎)と人称するなり

Krom 〔前〕の外, 以外, のみならず

殊の外**ロム**(空論)のみ吐くのみならず

大覺識と大法螺を吐く

Kron-o (一)冠, 王冠(二)花冠, かざし, (三)〔建〕冠頭

冠をいたゞく前の出生こそは

日夜**ローノ**(苦勞の)報なるべし

Kronik-o (一)年代記, 記録(二)時事, 雜報(新聞雜誌)

「**ロニー**コ」とは年代記, 時事, 雜報

などを現はすエス語なりけり

Kronologi-o 年代学

年代学に通じた**ロノ**ろ**ギー**オ(苦勞農老技を)

發揮して, 陸稻及び二度米作を励む

Kronometr-o クロノメートル

「**ロノメー**・**ロ**」を〔黒?の雌?捕?ろ〕と言ふ

エスペラントは鳥飼なるかも

Krop-o 〔動〕 餌囊

餌囊の何時も空虚を訴へる

就職口なき**ロー**ボ(苦勞坊)あはれ

Kroz-i 〔海〕海上を巡邏す, 遊戈す

ローズィ(苦勞侍医)頭髮霜を戴いて

御国のために**海上**を巡邏す

Kruc-o (一)十字架, (二) 十字章, 十字形

十字架にエスと諸共釘²付²けられし

盗人罵詈して心**ルーツ**ォ(狂ふと)る

Krucifiks-o 耶蘇磔像, 十字架像

ルツィフィッソ(苦血異不意苦曾)耶蘇磔像を
指していふ, 罪の御子をば救ふ神の子

Kruĉ-o 土瓶

土瓶にて酒をばかんし休日に
酔つ払つては無理にルルーチ(狂ふちよ)る

Krud-a (一) 生^ナの, 未製の, (二) 生硬なる, 粗野な

生の芋そのまゝ噛ぢる野良男
粗野なる行^ナ為^ナが^ナルルーダ(狂うた)のか

Kruel-a 残酷なる, 兇猛なる

残酷なる圧迫が^ナルルー(来ると豪)そうに
言つて野望を企む髭虎

Krup-o 〔医〕格魯布^ナ, 格魯布性喉頭炎

格魯布にて死んだ檀家へ和尚が
籠^ナ昇^ナがせて急ぎ^ナルルーポ(来る坊)さん

Krur-o 脛^ナ, 臍^ナ, 脚

山道に倒^ナけて脛^ナをば擦傷し
足の^ナルルーロ(くるぶし)を外づし苦しむ

Krust-o 硬皮, 外殻, 〔医〕皮癬^ナ

庭園の樹木の^ナ外殻, 硬皮をば
かんでは脱^ナル^ナルト(くる数頭)の狂犬

Krut-a 険しき, 急なる

山奥の^ナ険しき坂道踏み外づし
倒^ナけた途端に腰が^ナルルータ(狂うた)

Ksilofon-o 木琴

木琴を^ナス^ナィ^ナろ^ナフォーノ(葛色袍の)神職が
奏樂してゐる神の大前

Kub-o (一)〔幾〕立方体, 正六面体

(二)〔数〕立方, 三乗, (三)骰子
洋館の室は何れも立方体
その一室にクーボ(空房)生活す

Kubut-o 肘

髭虎が三^ナ五^ナ教に襲来し, 肘を張りつゝ
一分とクブート(九分と)を争ふ

Kudr-i 縫ふ

大空を縫^ナふて飛び行くクー^ナドリ(空鳥)の
姿追々小さくなりぬ

Kuf-o 頭巾

クー^ナフ(空砲)の音に驚き逃げ出だす
隠居頭巾を落して走る

Kugl-o 弾丸

敵軍の打出す弾丸クー^ナろ(くゞろう)と
味方の兵士這ひつゝ進む

Kuir-i 煮る, 料理す

板場男多クイー^ナリ(く入り)来て飯を煮る
祝宴のため鯛を料理す

Kuk-o 菓子(焙きたる)

芳ばしく焙きたる菓子を喜んで
クー^ナコ(喰ふ兒)は常に胃の病あり

Kukol-o 〔鳥〕郭公鳥^ナ

菖蒲咲クコー^ナろ(く頃)になれば郭公鳥
彼方此方の森に来て啼く

Kukum-o 〔植〕胡瓜^ナ

夏の夜半人の畠に飛び込んで
胡瓜を取りククー^ナモ(喰ふ雲)助人間

Kukurb-o 〔植〕南瓜

南瓜をば保存するため棚に縄
かけてはクク^ナボ(くくる坊)主鉢巻

Kul-o 〔動〕蚊属, 蚋^ナ

黄昏^ナて四辺がクー^ナろ(暗う)なりし時
我物がほに蚊属襲ひ来

Kuler-o 匙スプーン匙加減調べてくれー口(呉れろ)とドクトルが
代診生に注意与ふる

Kuli-o 苦力, 人足

支那人のクリーオ(苦力)を使ふて大工仕事
眼放しすれば怠ける人足

Kulis-o 〔劇〕脇道具, 楽屋

演劇場楽屋に使ふ脇道具
支那人クリーソ(苦力)つと雇ふも

Kulp-a 罪ある, 過失ある

送りク。パン(来る番)太の親爺縄かけて
罪ある人を糾問するなり

Kult-o 崇拜, 祭祀, 礼拝

神々の祭祀なしある霊山を
崇拜のためク。ト(くるゝ)巡ぐるKultur-i 〔一〕耕作す, 〔二〕養成す, 〔三〕教育す
季節のク。ト。ーリ(来る通り)百姓耕作す
教師は時世を知つて教化すKumin-o 〔植〕蒔蘿カミソリ蒔蘿の果をむしりて食はえ口ゆがむ
クミーノ(苦味の)激しき植物にして

Kun 〔前〕と, を以て, の附いた

ク。(君)と言ふ称呼の附いた人々は
輕蔑を以て迎へられてる

Kunikl-o 〔動〕家兎

家兎平素に飼ひ置き祝日に
代価も出さずらクニー。ろ(楽に食う)てるKup-o 〔一〕〔医〕吸角アソク, 〔二〕〔動〕吸盤吸角医者が患部に使用する
音はクーポ(クーポ)と耳に響きぬ

Kupe-o 車室, 仕切(列車の)

西伯利亞の汽車の車室は満員で, コザツ
クペーオ(ク兵を)載せて居るなり

Kupol-o 〔一〕〔建〕円頂, 〔二〕〔軍〕砲塔

建物の円頂もろクポーロ(くポーロ)ポーロと
砕け落ちたり地震の災に

Kupon-o 利札, 券, 切取切符

利札また借用券に攻められて
会計主任クポーノ(苦謀の)態なり

Kupr-o 銅

竹の葉を焚ク。ーロ(く風呂)の大釜は
銅もて造る事は禁物

Kur-i 走る

下り坂は馬も元気が恢復し
一時間にクーリ(九里)を走る

Kurac-i 治療す

治療する金さへも無き苦しさよ
貧乏クラーツィ(暮し)の我々の家

Kuraĝ-a 勇氣ある

優柔で用人何れも生クラ。ヂャ(らくぢャ)
チト勇氣ある者と代へたいKurator-o 後見人, 補佐人, 財産管理人(未成年者)親族が幾クラト。ーロ(ら取らう)と企むとも
後見人がビクともさせぬ

Kurb-a 曲れる

心より曲れる人を神の道は
皆精靈のク。バ(狂ふ婆)と曰ふ

Kurier-o 急使, 飛脚

急使をば遣はしたれど帰らない
クリエーロ(九里永路)の徒歩是非もなし

Kurioz-a 珍しき, 面白き

珍しきクリオーザメンホフ(栗をザメンホフ)
博士の、靈に供へて拝謝するなり

Kurs-o 講習, 講義, 教授, 課程

講習に皆クルソ(来る相)談始めてる
エスペラント語覚えんために

Kursiv-a 草書体の, 走り書きの

草書体の揮毫を支那人頼まれて
クルスイーヴァ(苦しい場)面とまごついて居る

Kurten-o 幕, 窓掛, 帳^ぶ

窓掛や幕など盗みにクルテーノ(来る低能)
狐鼠盗人は人間の屑

Kusen-o 蒲団(椅子などの), 座蒲団

椅子などの蒲団をかちるクセーノ(癖の)ある
この狂犬を撲殺したい

Kuŝ-i 横たはつてゐる, 臥てゐる

頭髪のもつれをさばくクーシ(櫛)こそは
婦人の頭に横たはつてゐる

Kutim-o 習慣, 常習, 慣例

麦飯をクティモ(食ふても)元気おとろへぬ
小供時代の習慣なれば

Kuv-o 甕, 大桶

大桶や甕にクーヴァみ(窪み)無き時は
水容器にはとてもならない

Kuz-o 従兄弟¹²

従兄弟瓜を二つに割りし如く
どこから見ても良クーゾ(くぞ)似て居る

Kvadrat-o 〔幾〕正方形, 〔数〕平方, 自乗

幾何学の正方形をエス語にて
クヴァドラート(苦場銅羅止)と称呼するなり

Kvadratur-o 〔幾〕求積

幾何学の求積クヴァトラトローロ(苦場銅羅取る)
俺には何んだか訳が分らぬ

Kvadril-o 四組舞踏

クヴァドリロー(九場取り様)に若き男女達
四組舞踊すりや五場はガラ明き

Kvalit-o 性質, 品質, 良否, 品等

性質の悪い人間, 品質の悪い品物
世にクヴァリート(九分あり)と言ふ

Kvankam 〔接〕と雖も, ……すれども

欺さんとすれども富^ト極^ト承知せぬ
我主と雖もなぐるクヴァンカム(苦番関)

Kvant-o 量, 分量, 額

商品の量また額を調べお^ッ(置く)
クヴァント(番頭)肌の気の利いた奴

Kvar 〔数〕四

四方八方に心をクヴァル(配る)斥候兵
敵の様子を探知せんため

Kvaranten-o 交通遮断(流行病地より来れる船をして陸)
停船(と交通せしめざる事又其期間)

流行病地より来れ船舶の、交通絶つを
クヴァランテーノ(苦場乱低脳)と曰ふ

Kvarc-o 〔鉱〕石英

八雲立つ出雲の国の鉾山は
石英鉾がクヴァルツォ(九分あると)曰ふ

Kvart-o 〔音〕第四度音程

言^ト霊^ヲを放ちクヴァルト(配ると)山川も
忽ちなびく第四度音程

Kvartal-o 区(都市の)

伝染病流行病の注意書
区長名義でクヴァルターロ(配るだらう)